

# 蓮田市立小中学校施設長寿命化計画

令和3年（2021年）3月

蓮田市教育委員会



# 【 目 次 】

用語の定義と解説 .....	1
<b>第1章 学校施設の長寿命化計画の背景、目的</b>	
1-1 計画の背景と目的 .....	2
1-2 計画の位置付け .....	2
1-3 計画期間 .....	3
1-4 対象施設 .....	3
<b>第2章 学校施設の目指すべき姿</b>	
2-1 上位関連計画の施策等 .....	4
2-2 学校施設の目指すべき姿 .....	9
<b>第3章 学校施設の状況</b>	
3-1 学校施設配置状況 .....	10
3-2 児童生徒数及び学級数の推移 .....	15
3-3 学校施設の老朽化状況 .....	17
3-4 学校施設関連経費の状況 .....	21
3-5 学校施設における課題 .....	22
<b>第4章 学校施設整備の基本的な方針</b>	
4-1 学校施設整備の基本的な方針 .....	23
4-2 学校施設の規模・配置計画等の方針 .....	25
4-3 改修等の基本的な方針 .....	25
4-4 学校施設整備の水準 .....	29
4-5 今後の維持管理の項目・手法等 .....	31
4-6 長寿命化の実施計画 .....	32
4-7 今後の維持・更新コスト .....	34
<b>第5章 計画の推進・運用方針</b>	
5-1 計画の運用と推進に関する考え方 .....	41



## 【用語の定義と解説】

本計画における建物に係る用語の定義と解説を以下に示します。

### ●基本的な用語

<b>長寿命化</b>	建物を将来にわたって長く使い続けるため、耐用年数を延ばすこと。	
<b>保全</b>	建物や設備が完成してから取り壊すまでの間、その性能や機能を良好な状態に保つほか、社会・経済的に必要とされる性能・機能を確保し、保持し続けること。保全のための手段として、点検・診断、改修等がある。	
	<b>予防保全</b>	損傷が軽微である早期段階から、機能・性能の保持・回復を図るために修繕等を行う、予防的な保全のこと。なお、あらかじめ周期を決めて計画的に修繕等を行う保全のことを「計画保全」という。
	<b>事後保全</b>	老朽化による不具合が生じた後に修繕等を行う、事後的な保全のこと。
<b>更新</b>	既存の建物や設備を新しく改めること。建物の場合は、「改築」と同義ととらえてよい。	
	<b>改築</b>	老朽化により構造上危険な状態にあたり、施設を利用する上で著しく不適当な状態にあたりする既存の建物を「建て替える」こと。
<b>改修</b>	経年劣化した建物の部分又は全体の原状回復を図る工事や、建物の機能・性能を求められる水準まで引き上げる工事を行うこと。	
	<b>長寿命化改修</b>	長寿命化を行うために、物理的な不具合を直し耐久性を高めることに加え、機能や性能を求められる水準まで引き上げる改修を行うこと。
	<b>長寿命化改良事業</b>	長寿命化を図るために構造体の耐久性向上やライフラインの健全化などの質の高い改修を行う文部科学省の学校施設環境改善交付金における対象事業のひとつ。
	<b>大規模改造</b>	経年により通常発生する学校建物の損耗、機能低下に対する復旧措置や、建物の用途変更に伴う改装等を行うこと。

※「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」（文部科学省）、「公立学校施設整備事務ハンドブック 令和2年」より。一部の記述を追記・改変しています。

# 第1章 学校施設の長寿命化計画の背景、目的

## 1-1 計画の背景と目的

蓮田市の学校施設の多くは昭和40～50年代後半にかけて整備され、築30年以上の施設が約8割と老朽化が進んでいます。

全国的にも学校施設をはじめ公共施設の老朽化や財政負担の増加等は課題となっており、蓮田市では人口規模や財政状況等に応じた適正かつ効率的な維持管理を進めるため、平成29年（2017年）3月に「蓮田市公共施設等総合管理計画」を策定しました。

また、国においては、学校施設の長寿命化を図るための指針として、平成27年（2015年）3月に「文部科学省インフラ長寿命化計画」を策定するとともに、自治体の計画策定を支援するため、平成27年（2015年）4月に「学校施設の長寿命化計画策定に係る手引」を、平成29年（2017年）3月には「学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書」（以下「解説書」という。）を作成しました。

これらの指針の中では、少子化の進展や教育内容・教育方法等の多様化、防災機能の強化、バリアフリー、環境への配慮等、学校施設に対する今日的なニーズへの対応と、将来の財政負担に配慮した効率的な維持管理が求められています。

以上を背景に、「蓮田市立小中学校施設長寿命化計画」（以下「本計画」という。）は、学校施設の老朽化状況等を把握した上で、蓮田市の学校施設としてあるべき姿を検討し、これに伴う中長期的な更新・維持管理費、さらには学校施設運営全体におけるトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ることを目的とするものです。

## 1-2 計画の位置付け

本計画は、蓮田市のまちづくりに関する最上位計画である「蓮田市第5次総合振興計画」や、関連計画となる「蓮田市公共施設等総合管理計画」、「蓮田市第二期子ども・子育て支援事業計画」等と整合を図りながら、学校施設整備の在り方や方向性を示すものとしします。

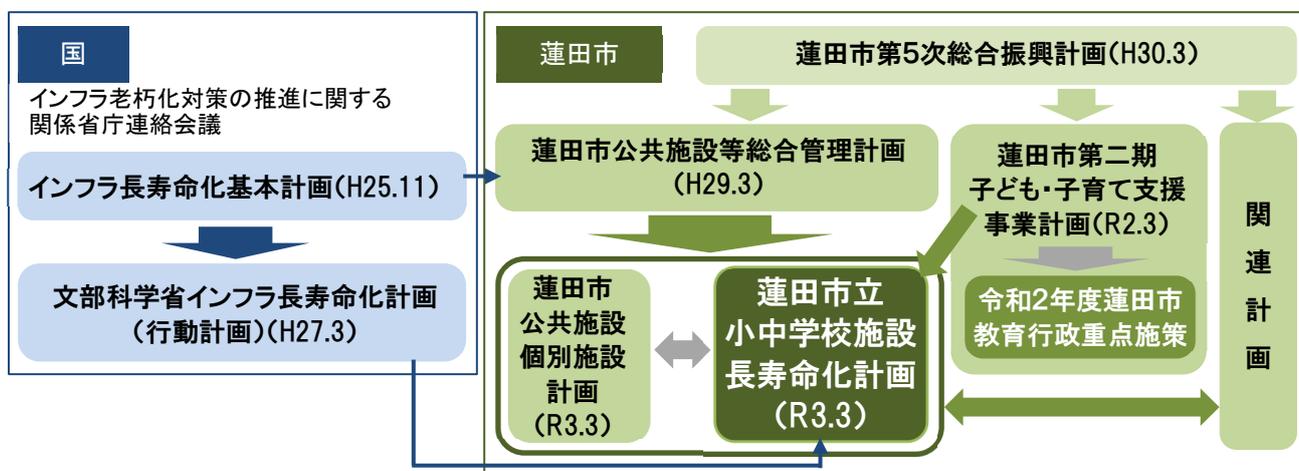


図1-1 計画の位置付け

### 1-3 計画期間

本計画の計画期間は、令和3年度（2021年度）から令和12年度（2030年度）までの10年間とします。

### 1-4 対象施設

本計画の対象施設は、小学校8校、中学校5校の13校とします。

表 1-1 対象施設一覧（小学校）

小学校	No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名
	1	蓮田南小学校	2	蓮田北小学校	3	平野小学校
	4	黒浜小学校	5	蓮田中央小学校	6	黒浜西小学校
	7	黒浜南小学校	8	黒浜北小学校	—	—

表 1-2 対象施設一覧（中学校）

中学校	No.	学校名	No.	学校名	No.	学校名
	1	蓮田中学校	2	平野中学校	3	黒浜中学校
	4	蓮田南中学校	5	黒浜西中学校	—	—

## 第2章 学校施設の目指すべき姿

### 2-1 上位関連計画の施策等

本計画の上位計画や、主な関連計画を以下に整理します。

#### (1) 蓮田市第5次総合振興計画（基本構想及び基本計画）【平成30年（2018年）3月】

※計画書抜粋（策定目的は要約）

計画期間	平成30年度（2018年度）～令和9年度（2027年度）
策定目的	社会情勢の変化や進行する少子高齢化等の背景の中、蓮田市では、地域における総合的かつ計画的な行政運営を図るために、その重要な指針となる基本構想及びこれに基づく基本計画は必要不可欠なものであると考え、議会の議決を経て策定するものとしします。
計画目標	<p>〈将来像〉</p> <p>四季かおる つながり 安心 活<small>い</small>きるまち</p> <p>〈基本政策〉</p> <p>【基本政策Ⅰ】未来の希望が輝くまちをつくる</p> <p>【基本政策Ⅱ】健康で安心して暮らせるまちをつくる</p> <p>【基本政策Ⅲ】学び合い、豊かな心を育むまちをつくる</p> <p>【基本政策Ⅳ】地域の資源が活<small>い</small>きるまちをつくる</p> <p>【基本政策Ⅴ】潤いのある快適なまちをつくる</p> <p>【基本政策Ⅵ】地域活動が活性化されたまちをつくる</p>
学校施設整備に係る関連内容	<p>○基本政策Ⅰ 未来の希望が輝くまちをつくる</p> <p>2 子育て環境の整備</p> <p>【基本目標】</p> <p>希望する子どもの数が実現できるように、子育て世代に対して、子育てに関するさまざまな不安や負担を減らす切れ目のない支援を行います。</p> <p>【施策・主要事業】</p> <p>P41（5）安全・安心</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公共施設の安全対策の充実</li> </ul> <p>3 地域や家庭における子育て支援</p> <p>【基本目標】</p> <p>地域の多くの人たちとのふれあい、つながりを深め、地域全体で子育て家庭を支援する環境をつくります。</p> <p>【施策・主要事業】</p> <p>P43（1）健全育成</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・公民館などを利用した子ども向け講座の開催</li> <li>・学校施設の活用</li> <li>・放課後子供教室の実施</li> </ul>

#### 4 学校教育の充実

##### 【基本目標】

将来を展望し、社会の変化や児童・生徒の変化をとらえて対応し、生きる力を育む教育の実現を目指します。

##### 【成果指標】

P45 小・中学校校舎及び体育館におけるトイレの洋式化率

基準値 33%→中間目標値 2022 年度 50%→目標値 2027 年度 70%

##### 【施策・主要事業】

P47 (2) 教育環境の充実

- ・小・中学校大規模改修事業
- ・小・中学校校庭整備事業
- ・小・中一貫教育モデル校指定事業
- ・情報化推進事業

P48 (3) 学校の教育力の向上

- ・開かれた学校づくり
- ・コミュニティ・スクール導入事業

#### ○基本政策Ⅱ 健康で安心して暮らせるまちをつくる

##### 1 地域でともに支え合う福祉の推進

##### 【基本目標】

地域のつながりにより、子ども、子育て家庭、高齢者、障がい者、外国人をはじめ、地域で暮らす誰もが支え合い、安心・安全に暮らせるように、各種の団体・関係機関同士の連携や相談窓口体制の強化等を図ります。また、福祉意識・人権意識の向上・醸成を図り、互いに思いやり助け合う絆が育まれるまちづくりを目指すとともに、高齢者や障がい者など、誰もが孤立することなく地域に受け入れる機会を創出します。

##### 【施策・主要事業】

P51 (2) 地域福祉環境の整備

- ・多世代交流の促進事業

##### 7 防災対策・危機管理体制の充実

##### 【基本目標】

かけがえのない生命・財産を守るため、関係機関と連携し、防災対策・危機管理体制の充実を図るとともに、公共建築物等の耐震補強整備等、防災環境の整備を推進します。

##### 【施策・主要事業】

P65 (2) 災害に強いまちづくりの推進

- ・公共建築物の耐震補強整備事業

(2) 蓮田市公共施設等総合管理計画【平成 29 年（2017 年）3 月】

※計画書抜粋

計画期間	平成 29 年度（2017 年度）～令和 28 年度（2046 年度）
策定目的	本市の実情に合った将来の街づくりを進める上での指針のひとつとするべく、公共施設等の全体の状況を把握し、長期的な視点をもって、公共施設等の運営を総合的かつ計画的に管理するために策定しました。
計画目標	<p><b>〈公共施設等の管理に関する基本的な方針〉</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●基本方針 1 公共施設の必要性について、市民のニーズを的確に把握し、限りある予算で対応することを踏まえ、人口減少や少子高齢化を見据えて、費用対効果についても総合的に検討しながら施設運営を行います。</li> <li>●基本方針 2 施設の維持管理について、機能の予防保全の観点から、定期的な点検・診断を実施し、施設の長寿命化を図ることで財政負担を軽減するとともに市民の安心・安全な施設利用を保持します。</li> <li>●基本方針 3 厳しい財政状況下で必要な施設の機能を維持するために、様々な工夫を凝らしながら的確な維持管理を行うことで、中長期的なトータルコストの縮減や平準化を図ることを検討します。</li> <li>◆実施方針 本計画における 3 つの基本方針に基づき、実施方針を以下のように定めま す。 <ul style="list-style-type: none"> <li>(1) 点検・診断等の実施方針</li> <li>(2) 維持管理・修繕・更新の実施方針</li> <li>(3) 安全確保の実施方針</li> <li>(4) 耐震化の実施方針</li> <li>(5) 長寿命化の実施方針</li> <li>(6) 統合や廃止の推進方針</li> <li>(7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針</li> </ul> </li> </ul>
学校施設 整備に係る 関連内容	<p><b>○施設類型別の課題と基本方針（学校教育施設（小学校、中学校））</b></p> <p>学校教育施設は、今後、計画的な老朽化対策を行うことにより、適切な予防保全、維持管理を図っていきます。また、今後も日頃の点検・診断による老朽化度の把握に努め、計画的に長寿命化のための改修や建替えを検討していきます。</p>

(3) 蓮田市第二期子ども・子育て支援事業計画【令和2年（2020年）3月】

※計画書抜粋

計画期間	令和2年度（2020年度）～令和6年度（2024年度）
策定目的	<p>本市では第一期子ども・子育て支援事業計画において「未来を託す子どもたち、豊かな心と健康を市民みんなで育てよう！」を基本理念に、次世代を担う子どもたちが地域の中でさまざまな人とふれあい、心身ともに健康で楽しく成長できるように、子ども・子育て支援に関する各種取組を定め、推進してきました。こうした理念を引き継ぎつつ、さらに「子どもの最善の利益」が実現される社会を目指して、令和2年度から令和6年度を計画期間とする第二期子ども・子育て支援事業計画を策定し、子ども・子育て支援に関する取組を総合的に推進していきます。</p>
計画目標	<p><b>〈基本理念〉</b>          未来を託す子どもたち、豊かな心と健やかな成長を市民みんなで育もう！</p> <p><b>〈基本目標〉</b></p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 地域における子育て支援の充実</li> <li>2 親と子どもの健康づくりの推進</li> <li>3 子どもの心身の健やかな成長に資する教育環境の整備</li> <li>4 安心して子育てができるまちづくり</li> <li>5 仕事と子育ての両立への支援</li> <li>6 要保護児童等へのきめ細かな取組の推進</li> <li>7 子どもの貧困対策の推進</li> </ol>
学校施設整備に係る関連内容	<p>P51（2）小学校の余裕教室等の学童保育所及び放課後子供教室への活動に関する方策</p> <p>P52（4）特別な配慮を必要とする児童への対応</p> <p>P58～60（4）子どもの健全育成</p> <p>P69、70（5）信頼される学校づくり</p> <p>P71（8）地域の教育力の向上</p> <p>P76（4）子どもを災害・犯罪から守る安全なまちづくりの推進</p>

#### (4) 蓮田市公共施設個別施設計画【令和3年(2021年)3月】

※計画書抜粋(一部要約)

計画期間	令和3年度(2021年度)から令和12年度(2030年度)
策定目的	<p>総合管理計画の具体化に向けた取り組みを推進するにあたり、公共建築物について、中長期的な視点から、施設保有量の適正化と長寿命化、財政負担の軽減を図るための計画的な維持・更新を実施する必要があります。</p> <p>本計画は、公共施設の維持・更新及び予算規模に応じた費用の平準化、優先づけ等を行うことで事業実施の有無や実施時期を適切に判断し、着実な事業実施が可能となる整備方針を示すことを目的とするものです。</p>
計画目標	蓮田市公共施設個別施設計画を参照

## 2-2 学校施設の目指すべき姿

蓮田市における学校施設の目指すべき姿は、前述した上位関連計画と整合を図りつつ、国の「学校施設整備基本構想の在り方について」（平成 25 年 3 月）において示された内容を参考とし、以下のように定めます。

### 【蓮田市における学校施設の目指すべき姿】

#### I 安全・安心な学校施設

学校施設は、児童生徒が一日の大半を過ごす重要な学習・生活の場であり、教職員の働く場です。更に、大部分の施設が災害時の重要な拠点となっています。そのため、快適で良好な学習環境を維持し、災害に強い、安心して過ごせる学校施設を目指します。

#### II 社会の変化に適応した教育活動等が展開できる学校施設

学習指導要領の改訂、ICT<sup>※1</sup>化の進展等の社会変化に伴い、教育に対するニーズ、学習内容や学習形態なども変化しています。これらの変化に適応し、豊かな教育活動が展開できる学校施設を目指します。

#### III 誰もが利用しやすい学校施設

バリアフリー化やユニバーサルデザイン<sup>※2</sup>の推進など、障がいの有無に関わらず誰もが快適に学び、利用できる学校施設を目指します。あわせて、省エネルギー化など、環境に配慮した学校施設を目指します。

#### IV 地域の拠点としての学校施設

学校施設は、放課後や休日の学校開放や避難所などとして活用されており、また、コミュニティ・スクール<sup>※3</sup>導入事業などにおける学校と地域の連携・協働の場や生涯学習の場などの役割も期待されています。教育施設としての役割を中核に、地域の拠点として多様な活用が可能な学校施設を目指します。

※1 ICT：Information and Communication Technology の略称であり、「コンピュータや情報通信ネットワークなどの情報コミュニケーション技術」のこと（文部科学省「教育の情報化に関する手引」（平成 22 年 10 月））。具体的には、国では学習者用コンピュータ、大型掲示装置、ネットワーク、ソフトウェア、サーバなどが示されている（文部科学省「平成 30 年度以降の学校における ICT 環境整備方針について」（平成 29 年 12 月））

※2 ユニバーサルデザイン：「障害の有無」、年齢、性別、人種等にかかわらず多様な人々が利用しやすいようあらかじめ都市や生活環境をデザインする考え方（文部科学省「ユニバーサルデザイン 2020 行動計画」抜粋）

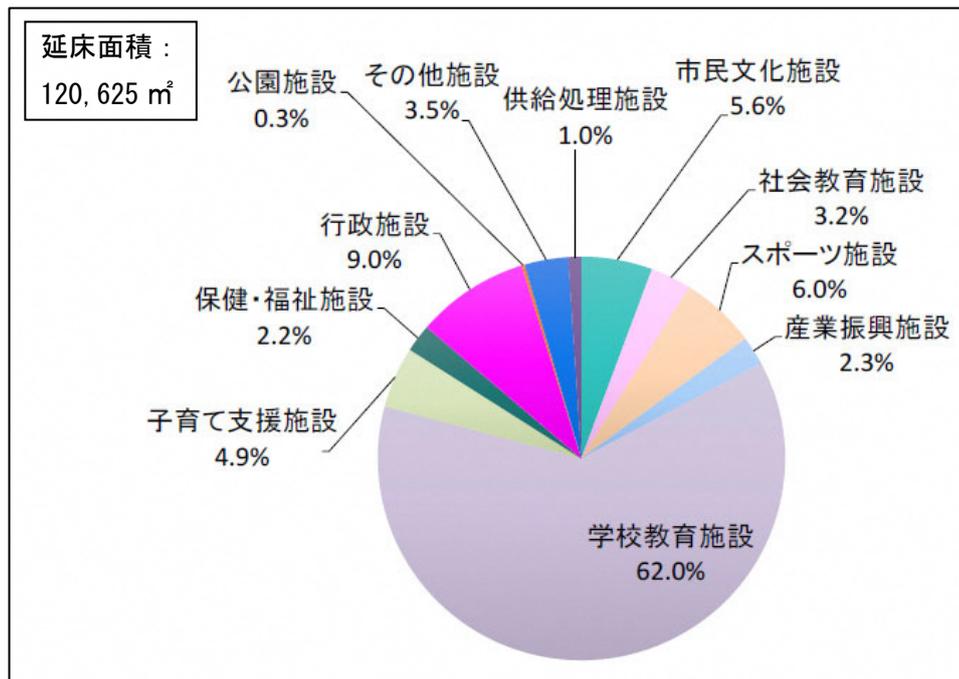
※3 コミュニティ・スクール（学校運営協議会制度）：学校と保護者や地域がともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させ、一緒に協働しながら子供たちの豊かな成長を支え「地域とともにある学校づくり」を進める仕組み

# 第3章 学校施設の状況

## 3-1 学校施設配置状況

### (1) 公共施設における位置付け

蓮田市が所有する公共施設について、分類別の延床面積をみると、学校施設は全体の約6割を占めています。



出典：蓮田市公共施設等総合管理計画

図 3-1 公共施設の分類別割合

## (2) 学校施設の整備状況

蓮田市の学校施設は、昭和40～50年代後半に建設されたものが多くなっています。延床面積で見ると約4割が新耐震基準※4で建てられたものとなっており、築年数を見ると、築30年以上のものは延床面積で全体の約9割、また、築40年以上のものは、棟数、延床面積とも約5割となっており、今後、更新需要がピークを迎えることが予測され、適切な整備、維持管理の手法について早急に検討していく必要があります。

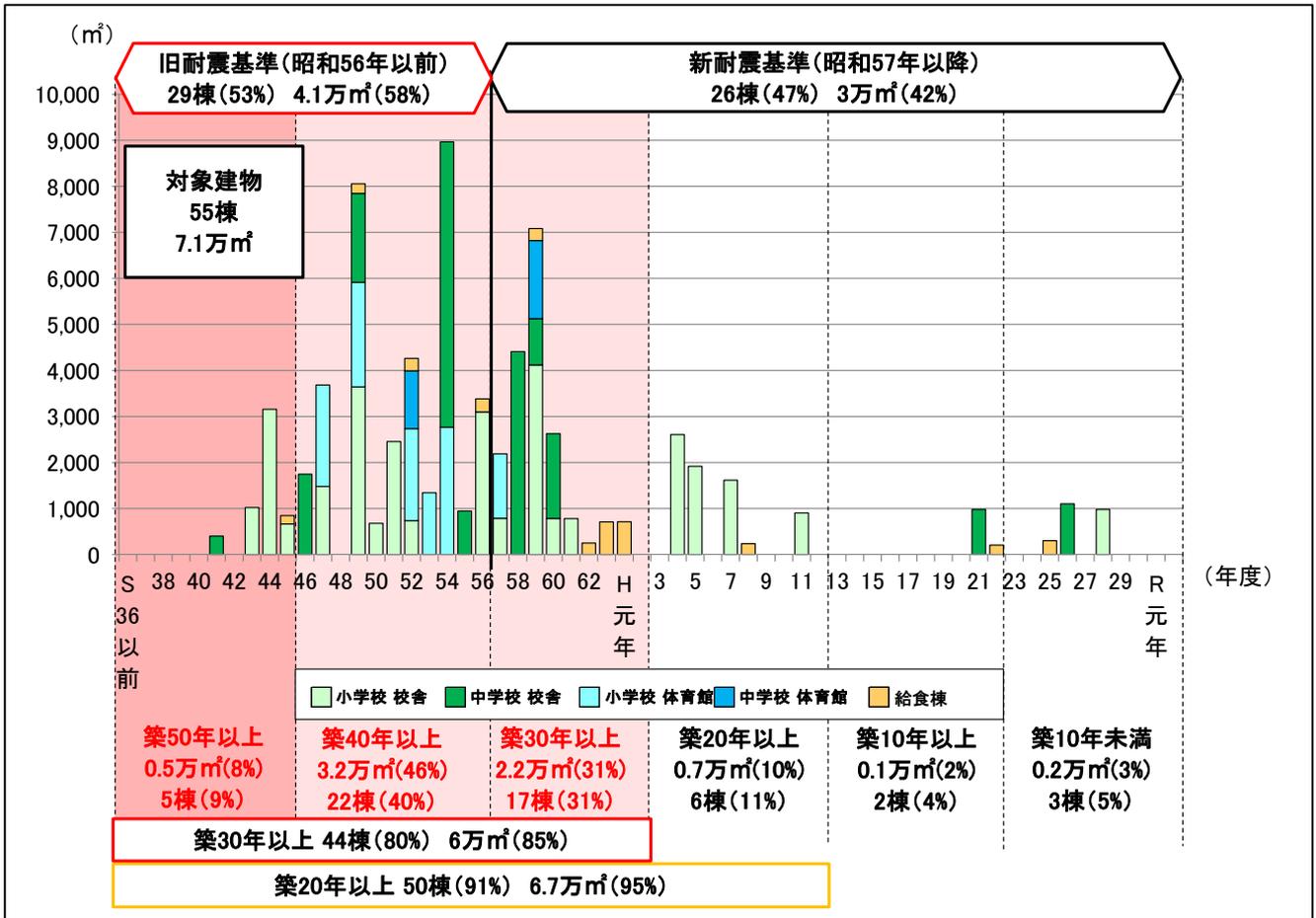


図 3-2 学校施設の築年別整備状況

※4 新耐震基準：昭和56年（1981年6月1日）に施行された新たな耐震基準のこと。それ以前のを旧耐震基準という。

### (3) 学校施設の概要

蓮田市が管理する学校施設は、下表の通り、小学校8校、中学校5校の計13校となっています。

また、学校施設の配置状況は、図3-3の通りです。

表3-1 施設の概要【小学校】(令和2年(2020年)時点)

: 築50年以上  : 築30年以上

学校種別	施設名(建物名)	構造※5	階数	延床面積(m <sup>2</sup> )	建築年度		築年数	
					西暦	和暦		
小学校	1	蓮田南小学校(校舎)	RC	3	2,243	1974	S49	46
		蓮田南小学校(校舎)	RC	2	2,606	1992	H4	28
		蓮田南小学校(給食棟)	S	1	207	1974	S49	46
		蓮田南小学校(体育館)	RC	1	978	2016	H28	4
	2	蓮田北小学校(校舎)	RC	3	2,205	1972	S47	48
		蓮田北小学校(校舎)	RC	3	1,615	1995	H7	25
		蓮田北小学校(給食棟)	S	1	236	1996	H8	24
		蓮田北小学校(体育館)	S	2	727	1976	S51	44
	3	平野小学校(校舎)	RC	3	1,479	1972	S47	48
		平野小学校(校舎)	RC	3	1,343	1978	S53	42
		平野小学校(校舎)	RC	2	903	1999	H11	21
		平野小学校(給食棟)	S	1	205	2010	H22	10
		平野小学校(体育館)	S	2	677	1975	S50	45
	4	黒浜小学校(校舎)	RC	3	1,020	1968	S43	52
		黒浜小学校(校舎)	RC	3	1,269	1974	S49	46
		黒浜小学校(校舎)	RC	3	1,040	1993	H5	27
		黒浜小学校(校舎)	RC	2	877	1993	H5	27
		黒浜小学校(給食棟)	S	1	182	1970	S45	50
		黒浜小学校(体育館)	S	2	779	1986	S61	34
	5	蓮田中央小学校(校舎)	RC	3	3,157	1969	S44	51
		蓮田中央小学校(校舎)	RC	3	1,001	1974	S49	46
		蓮田中央小学校(給食棟)	S	1	300	2013	H25	7
		蓮田中央小学校(体育館)	S	1	664	1970	S45	50
	6	黒浜西小学校(校舎)	RC	3	1,726	1976	S51	44
		黒浜西小学校(校舎)	RC	3	2,765	1979	S54	41
		黒浜西小学校(給食棟)	S	1	271	1977	S52	43
		黒浜西小学校(体育館)	S	2	737	1977	S52	43
	7	黒浜南小学校(校舎)	RC	4	3,098	1981	S56	39
黒浜南小学校(校舎)		RC	3	1,398	1982	S57	38	
黒浜南小学校(給食棟)		S	1	283	1981	S56	39	
黒浜南小学校(体育館)		S	2	789	1982	S57	38	
8	黒浜北小学校(校舎)	RC	3	4,117	1984	S59	36	
	黒浜北小学校(給食棟)	S	1	258	1984	S59	36	
	黒浜北小学校(体育館)	S	2	785	1985	S60	35	

※5 S : 鉄骨造 RC : 鉄筋コンクリート造

表 3-2 施設の概要【中学校】（令和2年（2020年）時点）

■ : 築 50年以上    □ : 築 30年以上

学校種別	施設名(建物名)	構造※5	階数	延床面積 (㎡)	建築年度		築年数	
					西暦	和暦		
中学校	9	蓮田中学校(校舎)	RC	3	1,401	1974	S49	46
		蓮田中学校(校舎)	RC	3	1,999	1977	S52	43
		蓮田中学校(校舎)	RC	3	979	2009	H21	11
		蓮田中学校(鉄骨校舎)	S	1	400	1966	S41	54
		蓮田中学校(給食棟)	S	2	355	1989	H元	31
		蓮田中学校(体育館)	RC	2	1,101	2014	H26	6
	10	平野中学校(校舎)	RC	3	1,045	1974	S49	46
		平野中学校(校舎)	RC	3	1,699	1984	S59	36
		平野中学校(給食棟)	S	1	251	1987	S62	33
		平野中学校(体育館)	S	2	881	1979	S54	41
	11	黒浜中学校(校舎)	RC	3	1,747	1971	S46	49
		黒浜中学校(校舎)	RC	3	1,254	1977	S52	43
		黒浜中学校(校舎)	RC	4	1,840	1985	S60	35
		黒浜中学校(給食棟)	S	1	357	1989	H元	31
		黒浜中学校(体育館)	S	2	889	1974	S49	46
	12	蓮田南中学校(校舎)	RC	4	5,320	1979	S54	41
		蓮田南中学校(給食棟)	S	1	339	1988	S63	32
		蓮田南中学校(体育館)	S	2	946	1980	S55	40
	13	黒浜西中学校(校舎)	RC	4	4,411	1983	S58	37
		黒浜西中学校(給食棟)	S	1	368	1988	S63	32
		黒浜西中学校(体育館)	S	2	1,008	1984	S59	36

※5 S : 鉄骨造      RC : 鉄筋コンクリート造

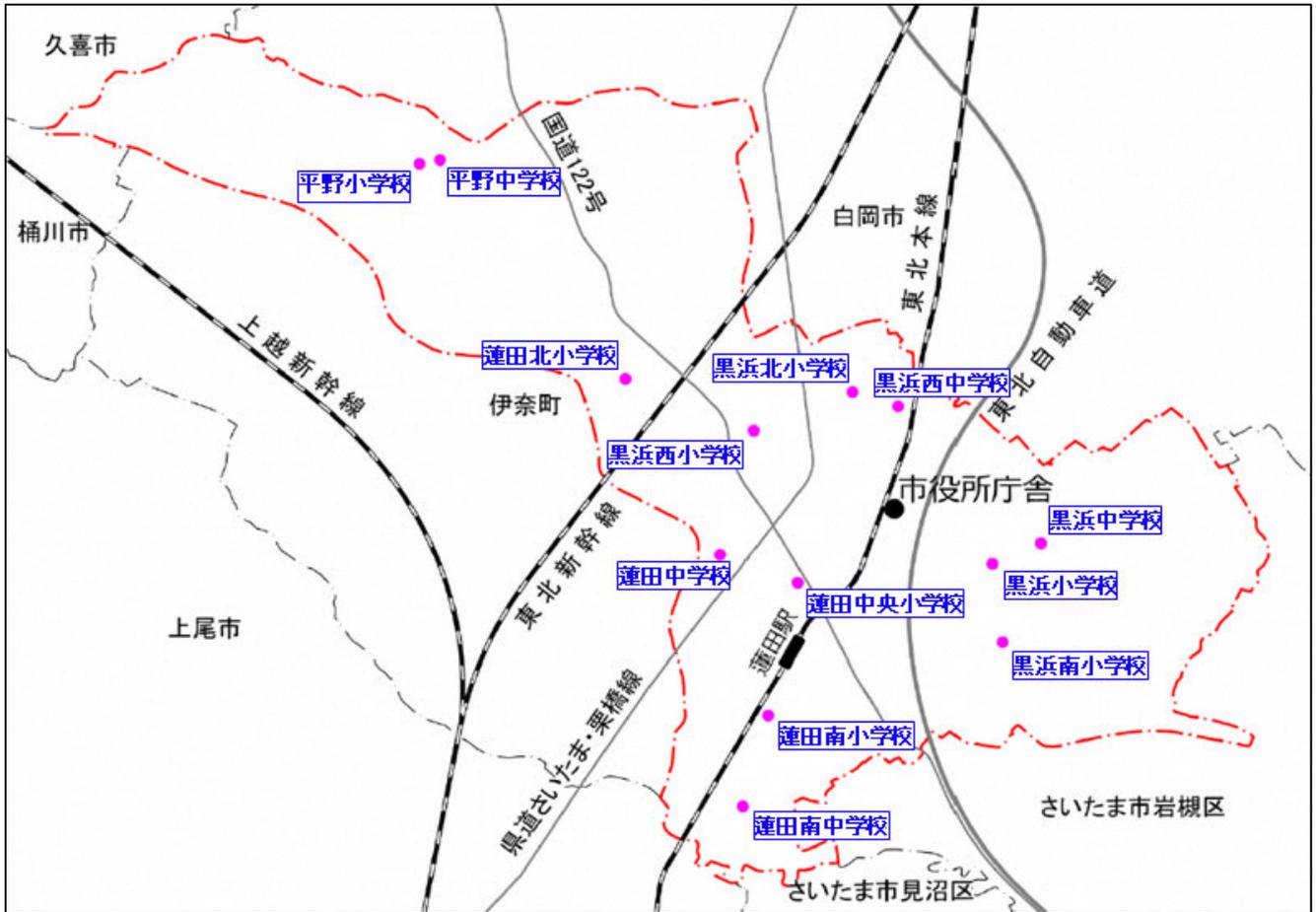


図 3-3 学校施設配置図

## 3-2 児童生徒数及び学級数の推移

### (1) 児童生徒数等の状況

本計画の対象となる小中学校の令和2年度（2020年度）の児童生徒数は、児童数 2,811 名、生徒数 1,487 名であり、合計 4,298 名となっています。

また、学級数は、小学校 110 学級（うち、特別支援学級 15 学級）、中学校 52 学級（うち、特別支援学級 8 学級）であり、合計 162 学級となっています。

表 3-3 学校別児童生徒数・学級数

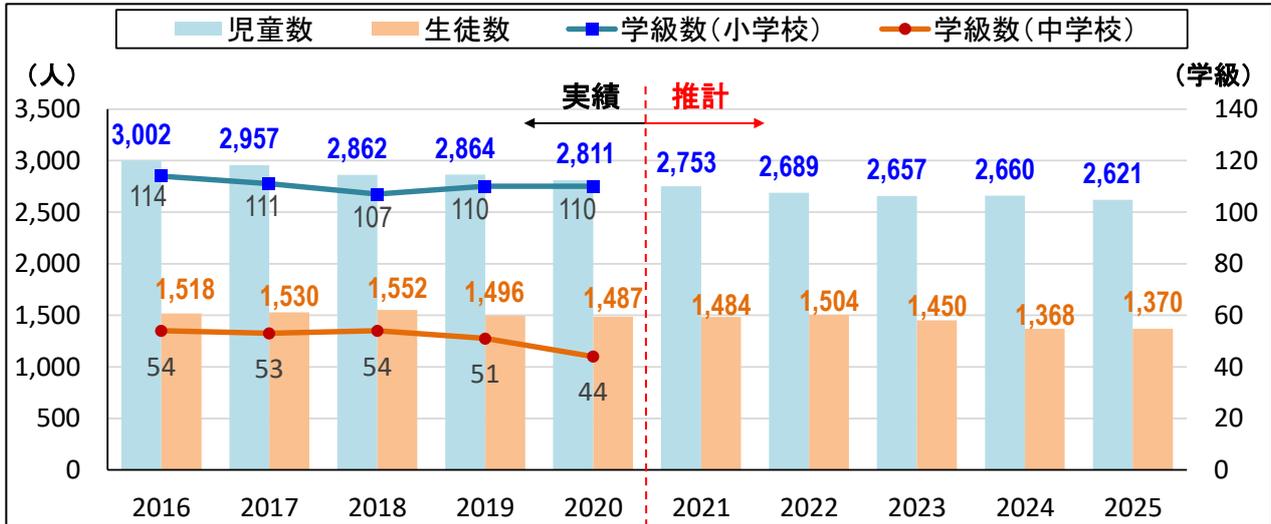
	学校名	所在地	令和2年度			
			児童 生徒数 (人)	学級数 (学級)		
				普通	特学	計
1	蓮田南小学校	蓮田市東6丁目9番11号	680	21	3	24
2	蓮田北小学校	蓮田市大字閨戸3236番地	181	6	1	7
3	平野小学校	蓮田市大字井沼937番地	192	6	1	7
4	黒浜小学校	蓮田市大字黒浜3069番地	357	12	2	14
5	蓮田中央小学校	蓮田市関山3丁目6番1号	562	18	3	21
6	黒浜西小学校	蓮田市西新宿3丁目84番地	314	12	2	14
7	黒浜南小学校	蓮田市大字黒浜722番地	288	11	2	13
8	黒浜北小学校	蓮田市大字南新宿800番地	237	9	1	10
小学校 小計			2,811	95	15	110
9	蓮田中学校	蓮田市大字閨戸147番地1	417	12	2	14
10	平野中学校	蓮田市大字井沼932番地	106	4	1	5
11	黒浜中学校	蓮田市大字黒浜4748番地	321	9	2	11
12	蓮田南中学校	蓮田市大字蓮田1519番地	336	10	2	12
13	黒浜西中学校	蓮田市大字黒浜3862番地	307	9	1	10
中学校 小計			1,487	44	8	52
合計			4,298	139	23	162

資料：蓮田市教育委員会

## (2) 児童生徒数、学級数の推移

近年の児童生徒数と学級数の推移を見ると、児童数、生徒数はともに減少傾向となっており、学級数は小学校で横ばい、中学校で減少傾向となっています。また、児童数、生徒数の推計は、ともに減少傾向となっています。

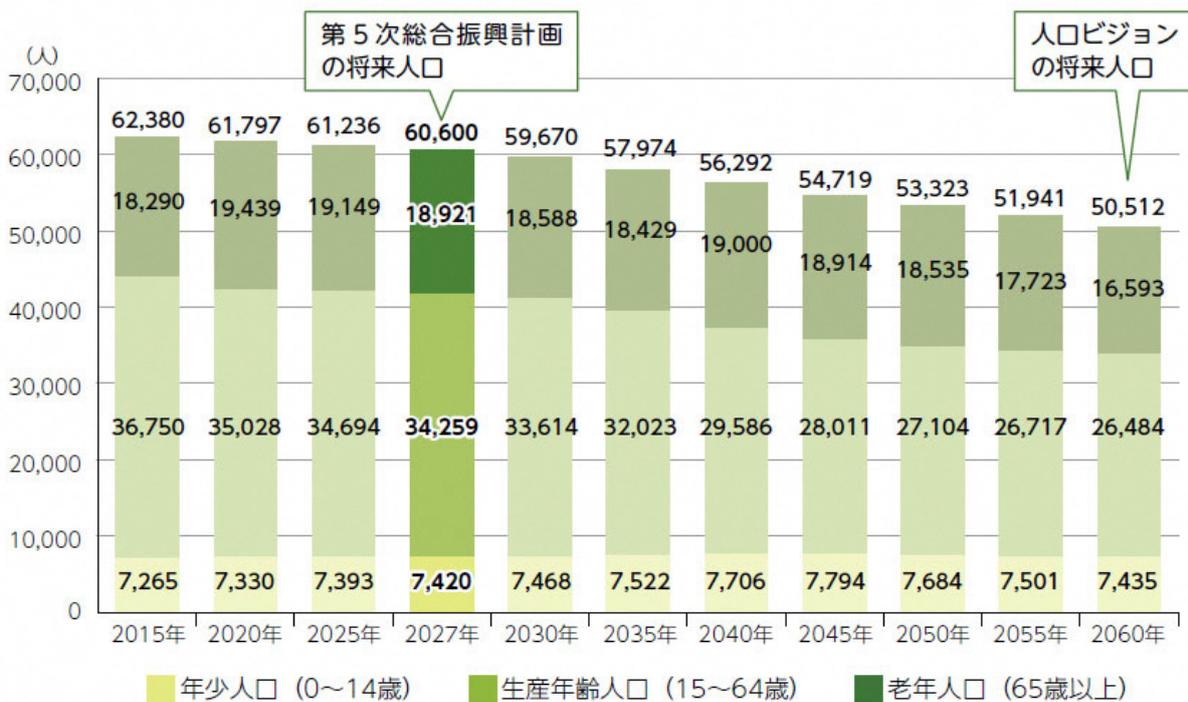
蓮田市の将来人口をみると、15歳未満の年少人口は、今後25年間は増加傾向となり、その後、減少しますが、40年後も現在と同程度の年少人口を維持する推計となっています。



資料:蓮田市教育委員会

図 3-4 児童生徒数及び学級数の推移 (各年 5 月 1 日)

※令和 3 年 (2021 年) 以降の児童生徒数の推計は、令和 2 年 (2020 年) 9 月 10 日現在における 2 歳から 6 歳までの小学校就学予定者数を採用し算出しました。



※2015 (平成27) 年は実績値。年齢不詳者を含むため、年齢3区分別人口の合計と総人口は一致しない。

図 3-5 蓮田市人口ビジョンに基づく第 5 次総合振興計画の将来人口

### 3-3 学校施設の老朽化状況

#### (1) 構造躯体の健全性の評価及び構造躯体以外の劣化状況等の評価

現地調査等に基づき、学校施設の老朽化状況を以下に整理しました。なお、劣化状況評価及び健全度の算定については、「解説書」に基づき行っています。

劣化状況の評価した結果、屋根・屋上や外壁などの建物外部では、築30年以上の学校を中心にC評価又はD評価が多くみられます。また、内部仕上げや電気設備、機械設備などの建物内部では、建物の経過年数に起因してC評価又はD評価となっているものが一定数みられます。

内部も含めた全ての項目についてC評価、D評価となっている学校もみられ、これらの学校については、早期に老朽化への対策を行う必要があります。

表 3-4 学校施設の老朽化状況（小学校）

建物基本情報						構造躯体の健全性					劣化状況評価					備考		
通し番号	施設名(建物名)	構造	建築年度		築年数	耐震安全性			長寿命化判定		屋根・屋上	外壁	内部仕上げ	電気設備	機械設備		健全度(100点満点)	
			西暦	和暦		基準	診断	補強	調査年度	圧縮強度(N/mm <sup>2</sup> )								区分上の
1	蓮田南小学校(校舎)	RC	1974	S49	46	旧	済	済	H22	16	長寿命	C	B	C	D	46		
2	蓮田南小学校(校舎)	RC	1992	H4	28	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	D	52	
3	蓮田南小学校(給食棟)	S	1974	S49	46	旧	済	済	H25	-	改築	C	B	A	C	D	69	圧縮強度不明
4	蓮田南小学校(体育館)	RC	2016	H28	4	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
5	蓮田北小学校(校舎)	RC	1972	S47	48	旧	済	済	H19	20	長寿命	C	C	C	C	D	36	
6	蓮田北小学校(校舎)	RC	1995	H7	25	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
7	蓮田北小学校(給食棟)	S	1996	H8	24	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
8	蓮田北小学校(体育館)	S	1976	S51	44	旧	済	済	H24	-	改築	B	B	C	C	D	49	圧縮強度不明
9	平野小学校(校舎)	RC	1972	S47	48	旧	済	済	H10	23	長寿命	D	D	C	C	D	25	
10	平野小学校(校舎)	RC	1978	S53	42	旧	済	済	H10	23	長寿命	D	D	C	C	D	25	
11	平野小学校(校舎)	RC	1999	H11	21	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
12	平野小学校(給食棟)	S	2010	H22	10	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	A	A	A	91	
13	平野小学校(体育館)	S	1975	S50	45	旧	済	済	H23	-	改築	C	C	C	C	D	36	圧縮強度不明
14	黒浜小学校(校舎)	RC	1968	S43	52	旧	済	済	H21	24	長寿命	B	B	A	C	D	72	
15	黒浜小学校(校舎)	RC	1974	S49	46	旧	済	済	H21	19	長寿命	A	A	A	C	D	81	
16	黒浜小学校(校舎)	RC	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
17	黒浜小学校(校舎)	RC	1993	H5	27	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	B	B	B	77	
18	黒浜小学校(給食棟)	S	1970	S45	50	旧	-	-	-	-	改築	B	C	C	C	D	39	圧縮強度不明
19	黒浜小学校(体育館)	S	1986	S61	34	新	-	-	-	-	長寿命	D	C	B	B	B	59	
20	蓮田中央小学校(校舎)	RC	1969	S44	51	旧	済	済	H14	17	長寿命	C	C	A	A	A	78	
21	蓮田中央小学校(校舎)	RC	1974	S49	46	旧	済	済	H14	22	長寿命	C	C	C	C	D	36	
22	蓮田中央小学校(給食棟)	S	2013	H25	7	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
23	蓮田中央小学校(体育館)	S	1970	S45	50	旧	済	済	H23	-	改築	B	D	C	C	D	31	圧縮強度不明
24	黒浜西小学校(校舎)	RC	1976	S51	44	旧	済	済	H22	28	長寿命	A	D	C	C	D	33	
25	黒浜西小学校(校舎)	RC	1979	S54	41	旧	済	済	H22	25	長寿命	A	D	C	C	D	33	
26	黒浜西小学校(給食棟)	S	1977	S52	43	旧	済	済	H24	-	改築	C	C	C	C	D	36	圧縮強度不明
27	黒浜西小学校(体育館)	S	1977	S52	43	旧	済	済	H24	-	改築	C	C	C	C	D	36	圧縮強度不明
28	黒浜南小学校(校舎)	RC	1981	S56	39	旧	済	-	H22	35	長寿命	C	D	B	B	B	53	
29	黒浜南小学校(校舎)	RC	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	B	53	
30	黒浜南小学校(給食棟)	S	1981	S56	39	旧	済	済	H25	-	改築	A	A	A	A	A	100	圧縮強度不明
31	黒浜南小学校(体育館)	S	1982	S57	38	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
32	黒浜北小学校(校舎)	RC	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	D	43	
33	黒浜北小学校(給食棟)	S	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	B	B	B	B	75	
34	黒浜北小学校(体育館)	S	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	B	B	B	53	

A : 概ね良好      C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化    D : 早急に対応する必要がある

  : 築50年以上      : 築30年以上

基準 2020

表 3-5 学校施設の老朽化状況（中学校）

  : 築 50年以上   
   : 築 30年以上   
 基準 2020   
 A : 概ね良好   
 C : 広範囲に劣化  
B : 部分的に劣化   
D : 早急に対応する必要がある

建物基本情報						構造躯体の健全性						劣化状況評価						備考
通し 番号	施設名(建物名)	構造	建築年度		築 年 数	耐震安全性			長寿命化判定			屋根・ 屋上	外 壁	内 部 仕 上	電 気 設 備	機 械 設 備	健全 度 (100 点 満 点)	
			西暦	和暦		基準	診断	補強	調 査 年 度	圧 縮 強 度 (N/ mm <sup>2</sup> )	試 算 上 の 区 分							
35	蓮田中学校(校舎)	RC	1974	S49	46	旧	済	済	H16	17	長寿命	B	B	C	C	D	49	
36	蓮田中学校(校舎)	RC	1977	S52	43	旧	済	済	H16	21	長寿命	B	B	C	C	D	49	
37	蓮田中学校(校舎)	RC	2009	H21	11	新	-	-	-	-	長寿命	A	A	A	A	A	100	
38	蓮田中学校(鉄骨校舎)	S	1966	S41	54	旧	済	済	H25	-	改築	A	A	C	C	D	59	圧縮強度不明
39	蓮田中学校(給食棟)	S	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	D	D	B	B	B	51	
40	蓮田中学校(体育館)	RC	2014	H26	6	新	-	-	-	-	長寿命	A	B	A	A	A	93	
41	平野中学校(校舎)	RC	1974	S49	46	旧	済	済	H21	21	長寿命	B	B	C	C	D	49	
42	平野中学校(校舎)	RC	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
43	平野中学校(給食棟)	S	1987	S62	33	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	
44	平野中学校(体育館)	S	1979	S54	41	旧	済	済	H24	-	改築	A	C	C	C	C	45	圧縮強度不明
45	黒浜中学校(校舎)	RC	1971	S46	49	旧	済	済	H21	19	長寿命	D	D	C	C	D	25	令和2年度改修済
46	黒浜中学校(校舎)	RC	1977	S52	43	旧	済	済	H21	21	長寿命	C	D	C	C	D	28	令和3年度改修予定
47	黒浜中学校(校舎)	RC	1985	S60	35	新	-	-	-	-	長寿命	B	C	B	B	B	65	
48	黒浜中学校(給食棟)	S	1989	H元	31	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
49	黒浜中学校(体育館)	S	1974	S49	46	旧	済	済	H23	-	改築	B	D	C	A	D	39	圧縮強度不明
50	蓮田南中学校(校舎)	RC	1979	S54	41	旧	済	済	H20	25	長寿命	D	D	C	C	D	25	
51	蓮田南中学校(給食棟)	S	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	C	B	B	B	B	72	
52	蓮田南中学校(体育館)	S	1980	S55	40	旧	済	済	H25	-	改築	B	A	B	B	B	82	圧縮強度不明
53	黒浜西中学校(校舎)	RC	1983	S58	37	新	-	-	-	-	長寿命	C	D	C	C	C	31	
54	黒浜西中学校(給食棟)	S	1988	S63	32	新	-	-	-	-	長寿命	B	A	B	B	B	82	
55	黒浜西中学校(体育館)	S	1984	S59	36	新	-	-	-	-	長寿命	C	C	B	B	B	62	

## 《記入の仕方》

屋根・屋上、外壁は目視状況により、内部仕上げ、電気設備、機械設備は部位の全面的な改修年からの経過年数を基本にA、B、C、Dの4段階で評価する。p.28～33で評価基準を写真事例を用いて詳細に解説する。なお、寒冷地における写真事例等を加えるなど、必要に応じて地域の状況に応じた評価基準を作成することが望ましい。

### 評価基準

#### 目視による評価【屋根・屋上、外壁】

評価	基準
良好 A	概ね良好
B	部分的に劣化(安全上、機能上、問題なし)
C	広範囲に劣化(安全上、機能上、不具合発生の兆し)
劣化 D	早急に対応する必要がある (安全上、機能上、問題あり) (躯体の耐久性に影響を与えている) (設備が故障し施設運営に支障を与えている)等

#### 経過年数による評価 【内部仕上げ、電気設備、 機械設備】

評価	基準
良好 A	20年未満
B	20～40年
C	40年以上
劣化 D	経過年数に関わらず著しい劣化事象がある場合

### 健全度の算定

健全度とは、各建物の5つの部位について劣化状況を4段階で評価し、100点満点で数値化した評価指標である。①部位の評価点と②部位のコスト配分を下表のように定め、③健全度を100点満点で算定する。なお、②部位のコスト配分は、文部科学省の「長寿命化改良事業」の校舎の改修比率算定表を参考に、同算定表における「長寿命化」の7%分を、屋根・屋上、外壁に按分して設定している。

#### ①部位の評価点

	評価点
A	100
B	75
C	40
D	10

#### ②部位のコスト配分

部位	コスト配分
1 屋根・屋上	5.1
2 外壁	17.2
3 内部仕上げ	22.4
4 電気設備	8.0
5 機械設備	7.3
計	60

#### ③健全度

$$\text{総和(部位の評価点} \times \text{部位のコスト配分)} \div 60$$

※100点満点にするためにコスト配分の合計値で割っている。  
※健全度は、数値が小さいほど劣化が進んでいることを示す。

(右図「劣化状況調査票」記入例における健全度計算例)

	評価	評価点	配分	
1 屋根・屋上	C	40	5.1	= 204
2 外壁	D	10	17.2	= 172
3 内部仕上げ	B	75	22.4	= 1,680
4 電気設備	A	100	8.0	= 800
5 機械設備	C	40	7.3	= 292
計				3,148
				÷ 60
健全度				52

## (2) 現地調査による学校施設の主な劣化状況

### ① 外壁

半数以上の学校で外壁にモルタルやタイルの浮き、鉄筋露出、ひび割れ等がみられています。このまま老朽化が進行すると、仕上材、コンクリートの剥離・剥落による児童生徒の負傷などの危険性や、外壁のひび割れ部からの浸水により鉄筋腐食が進行し、構造体の強度低下や耐久性に影響が出る可能性があります。



外壁の鉄筋露出



外壁のひび割れ



外壁のタイル浮き

### ② 屋上防水

一部の学校で、屋上防水の損傷や剥離等がみられています。

このまま老朽化が進行すると、雨漏りが発生し、学校内の天井や床面を汚損したり、濡れた床面で児童生徒が転ぶなど、学校生活に支障をきたす可能性があります。さらに雨漏りを放置すると、天井下地材を腐食させ、天井を落下させるおそれもあります。



防水層の損傷



防水層の剥離

### ③ 内部仕上げ

築後年数が経過した学校を中心に、一部の学校で天井の漏水、壁の漏水痕を伴うひび割れ等がみられています。

このまま老朽化が進行すると、天井材の落下による児童生徒の負傷などの危険性や、外部からの雨水の進入による鉄筋腐食が進行し、構造体の強度低下や耐久性に影響が出る可能性があります。



天井の漏水



漏水痕を伴う壁のひび割れ

### 3-4 学校施設関連経費の状況

過去5年間の学校施設の維持管理費は、平均で約3.7億円/年となっています。

なお、平成27年度（2015年度）は、蓮田南小学校の体育館の改築を行っているため、施設整備費が特に高くなっています。

項目別にみると、施設整備費が平均約2.3億円/年、その他施設整備費が平均約0.1億円/年、維持修繕費が平均約0.1億円/年、光熱水費・委託費で平均約1.2億円/年となっています。

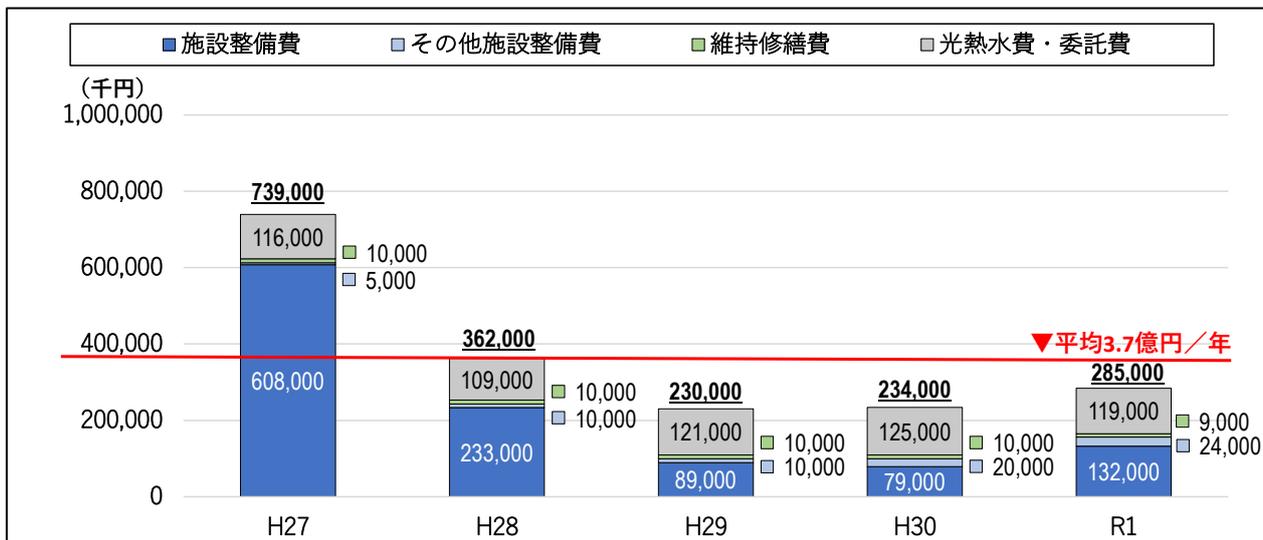


図 3-6 施設関連経費の推移

表 3-6 施設関連経費の内訳

施設関連経費の項目	内 訳
施設整備費	総合振興計画事業費（小中学校大規模改修事業）
その他施設整備費	総合振興計画に含まれないその他工事
維持修繕費	修繕料
光熱水費・委託費	光熱水費：給食含む 委託料：保守、警備、清掃等 ※役務費（法定点検手数料、火災保険料委託）を含む

### 3-5 学校施設における課題

学校施設における現状や、今後予想される維持管理費用等を踏まえ、蓮田市の学校施設における今後の課題を以下の通り整理しました。

#### (1) 学校施設の老朽化状況に応じた計画的な整備・維持管理

蓮田市の学校施設は、昭和 40～50 年代後半に集中して整備されており、約半数が築 40 年を経過しています。今後は、これらの学校施設の改修や改築などが一定の時期に集中して発生することが予測されます。

また、現地調査の結果では、一部の学校で広範囲に劣化が確認されており、建物の安全性や機能が損なわれる可能性があると考えられます。

令和元年度から、長寿命化改良事業を実施しており、今後も引き続き、建物の長寿命化を図るとともに、定期的な点検の実施等により、学校施設の劣化状況を的確に把握し、予防保全型の維持管理を進めるなど、財政負担の平準化を考慮しながら計画的な維持管理を進めていく必要があります。

#### (2) 教育ニーズの変化に対応できる学習環境の整備

これまで蓮田市では、教育現場のニーズが高いトイレの洋式化を重点的に進めてきていますが、洋式化率はまだ低い水準にあります。そのほか、体育館照明の LED 化、放送設備の改修工事などを実施しています。

今後は、第5次総合振興計画で定めた目標値の達成に向けて、引き続きトイレの洋式化を進めるとともに、教育の ICT 化など時代に応じて変化する教育ニーズに対応できる環境をつくるため、ニーズを把握しながら、より効果的・効率的な施設整備を進めていくことが重要です。

#### (3) 財政負担の軽減や予算の平準化を考慮した学校施設の整備

「蓮田市公共施設等総合管理計画」では、今後、施設の改修、更新にかかる費用が充満可能な額を大幅に上回る見込みが示されており、施設整備にかかる費用の削減が必要となっています。公共施設全体の床面積のうち約6割を占める学校施設において、費用削減の必要性がより高まるものと思われれます。

そのため、今後の学校施設の整備においては、「蓮田市公共施設等総合管理計画」において定められた基本方針を踏まえ、人口構造や利用者ニーズの変化に対応しながら、費用対効果を総合的に検討した施設運営、施設の長寿命化による財政負担の軽減、中長期的なトータルコストの縮減や予算の平準化を図る必要があります。

## 第4章 学校施設整備の基本的な方針

### 4-1 学校施設整備の基本的な方針

本計画の基本的な方針は、本計画と密接に関連する「蓮田市公共施設等総合管理計画」や「蓮田市公共施設個別施設計画」と整合を図り、以下のように定めます。

- ①劣化状況や学校施設の利用状況等を踏まえ、計画的に長寿命化のための改修や改築などを検討し、財政負担を可能な限り平準化した適切な整備手法を選択します。
- ②日常点検や定期点検などを通じて学校施設の劣化状況を定期的に把握し、計画的な老朽化対策を行うことにより、安全性確保や予防保全型の維持管理に努めます。
- ③学習指導要領の改訂や社会の変化に対応し、児童生徒の学習環境を向上させるための機能性向上について十分検討し、必要に応じて改修などを行います。
- ④学校施設の整備に当たっては、「蓮田市公共施設等総合管理計画」や「蓮田市公共施設個別施設計画」など、本計画の上位関連計画を踏まえ、全市的な観点から検討します。

#### 【参考：蓮田市公共施設等総合管理計画の抜粋】

##### ◆公共施設等の管理に関する基本方針

###### 【基本方針1】

公共施設の必要性について、市民のニーズを的確に把握し、限りある予算で対応することを踏まえ、人口減少や少子高齢化を見据えて、費用対効果についても総合的に検討しながら施設運営を行います。

###### 【基本方針2】

施設の維持管理について、機能の予防保全の観点から、定期的な点検・診断を実施し、施設の長寿命化を図ることで財政負担を軽減するとともに市民の安心・安全な施設利用を保持します。

###### 【基本方針3】

厳しい財政状況下で必要な施設の機能を維持するために、様々な工夫を凝らしながら的確な維持管理を行うことで、中長期的なトータルコストの縮減や平準化を図ることを検討します。

##### ◆実施方針

###### (1) 点検・診断等の実施方針

日常的及び法定の点検・診断等を施設の特性に応じて、できる限り適切に実施するよう努めます。施設の劣化や異常を速やかに把握し、健全度を評価し蓄積することで、施設の課題と維持管理上の優先度を判断し、今後の長寿命化対策に活用していきます。

## (2) 維持管理・修繕・更新の実施方針

日常の点検・保守業務により、劣化や機能低下を早期に発見、修繕するとともに、施設の長寿命化に向けた予防保全型の維持管理を実施します。また、公共施設等の長寿命化の要素としては、建物本体以外にも設備機器の日常点検、消耗品の交換、調整等が不可欠なため、施設ごとの特性により計画的な維持管理をしていきます。公共施設等の更新については、高額な費用を要するため、その後の利用者の的確なニーズや維持管理の方策等を十分に考慮しながら持続可能な施設運営を進めていきます。

## (3) 安全確保の実施方針

公共施設における安全確保は、第一に利用者の安全を確保することです。また、公共施設ということ踏まえ、災害等に遭遇した場合の安全性に欠ける施設や避難所となる施設について、優先的に適切な改修の計画を実施していきます。

## (4) 耐震化の実施方針

当市では、過去の全国的に発生した被害の大きな地震等を教訓に、公共施設の耐震化を計画的に実施してまいりましたが、加えて、平成22年度に蓮田市建築物耐震改修促進計画を策定し、現在まで計画目標を見直しながら積極的な耐震化の促進を図っているところです。

現行の計画（平成28～令和2年度までの5年間）では、新たな目標の強化（令和2年度までに耐震化100%達成など）を図る計画となっています※。計画の中で、耐震化対象となる市有建築物の床面積基準は200㎡以上ですが、それ以下の建築物についても、施設利用の状況も踏まえ、耐震補強を行うか、または物理的に耐震補強が有効でない老朽化施設の場合は建替えを行うかの両面から検討を進めていきます。

※令和2年（2020年）3月に耐震化100%達成済となっています。

## (5) 長寿命化の実施方針

今後は、国土交通省から要請されている個別施設の長寿命化計画の策定について、令和2年度を目標に全庁的な組織体制で取り組んでいきます。この計画においては、対象施設、計画期間、対策の優先順位の考え方、個別施設の状態等、対策内容と実施時期、対策費用を記載することとなっています。

## (6) 統合や廃止の推進方針

市民アンケートの結果を的確に踏まえ、効果的な施設運営を行っていくため、既存施設の更新や新たな建設を検討する際には、既存施設のあり方、または複合利用を考えた施設の統合や廃止の検討も行います。

## (7) 総合的かつ計画的な管理を実現するための体制の構築方針

公共施設等総合管理計画を含めた公共施設アセットマネジメント※を着実に推進していくために、全庁的な取組み体制を構築します。施設ごとの現状を的確に捉え、その特性に適合した施設管理を推進するために、事業の優先度、計画の進行管理や目標の見直し、また、必要な知識や情報等の共有を全庁的に把握できる体制を構築します。さらに、必要に応じて、PPP/PFI の活用も検討しながら、施設の長期保全に努めます。

※公共施設アセットマネジメントとは、公共施設等を資産として管理を行うことです。

## ◆施設類型別の課題と基本方針【学校教育施設（小学校、中学校）】

### 【現状と課題】

市内の学校教育施設は、昭和 40～50 年代後半にかけて建築された建物が多く、築 30 年以上を経過した建物が全体の 79%を占めています。また、市内の公共施設の総延床面積の内、学校施設の占める割合が全体の 62.0%と最も多くなっています。

各小・中学校は、校舎及び体育館等各施設において、平成 12 年度から耐震化工事を随時実施し、平成 27 年度までに 100%実施済となっています。また、蓮田中央小学校は平成 17 年度に大規模改修を実施し、平成 26 年度には蓮田中学校の体育館を、平成 27 年度には蓮田南小学校の体育館の建替えを実施しています。さらに、平成 22 年度には平野小学校の給食棟を、平成 25 年度には蓮田中央小学校の給食棟をリニューアルしています。このように、学校教育施設については、近年、安心・安全な環境整備を重点的に行っています。しかしながら、学校施設は、全体的にみると経年劣化が進んでいる建物もまだ多く、日頃の点検・診断を重視した計画的な設備等への保全対策を課題とします。

### 【基本方針】

学校教育施設は、今後、計画的な老朽化対策を行うことにより、適切な予防保全、維持管理を図っていきます。また、今後も日頃の点検・診断による老朽化度の把握に努め、計画的に長寿命化のための改修や建替えを検討していきます。

## 4 - 2 学校施設の規模・配置計画等の方針

学校施設の規模・配置計画等については、年少人口が当面増加する見込みであるため、現段階では現状を維持することとし、今後は、本計画の上位計画等を踏まえ、必要に応じて検討することとします。

## 4 - 3 改修等の基本的な方針

### (1) 長寿命化の方針

蓮田市の学校施設について、今後は以下の方針に基づき、長寿命化を図るための改修、修繕等を行います。

#### ①長寿命化改修の実施

築 40 年を経過し、今後、統廃合などの可能性がなく、長期的に維持管理すべき学校施設については、外壁や屋根・屋上、内部仕上げ、電気・機械設備について、メンテナンス周期の長い材料へのグレードアップなど、学校施設の長寿命化を図るための改修を実施します。

また、改修実施後は、学校施設を健全に維持するために計画的な修繕を実施します。

## ②部位ごとの周期に基づく計画的な修繕の実施

外壁や屋根・屋上、設備機器など、学校施設の健全性を維持するために重要となる部位については、部位ごとの修繕周期に応じた計画的な修繕の実施に努めます。

なお、参考として、部位ごとの修繕周期の目安について、国土交通省「公営住宅等長寿命化計画策定指針（改定）」（平成28年（2016年）8月）では、表4-1の通り示されています。

表4-1 建物部位ごとの修繕周期の目安

	推定修繕項目	対象部位等	工事区分	修繕周期	想定する修繕工事の仕様
屋根防水	屋上防水 (保護防水)	屋上、塔屋、ルーフバルコニー	補修	12年	伸縮目地の打替、保護コンクリート部分補修
			修繕	24年	下地調整の上、露出防水(かぶせ方式)
	屋上防水 (露出防水)	屋上、塔屋	修繕	12年	塗膜防水の上保護塗装(かぶせ方式)
			撤去・新設	24年	既存防水層全面撤去の上下地調整、露出アスファルト防水等
	傾斜屋根	屋根	補修	12年	下地調整の上保護塗装
		撤去・葺替	24年	既存屋根材を全面撤去の上下地補修、葺替え	
	庇・笠木等防水	庇天端、笠木天端、パラペット天端・アゴ、架台天端等	修繕	12年	高圧洗浄の下地調整、塗膜防水等
外壁塗装等	コンクリート補修	外壁、屋根、床、手すり壁、軒天(上げ裏)、庇等(コンクリート、モルタル部分)	補修	18年	ひび割れ、浮き、欠損、鉄筋の発錆、モルタルの浮き等の補修
	外壁塗装	外壁、手すり壁等	塗替	18年	高圧洗浄の上下地処理、仕上塗材塗り等
	軒天塗装	開放廊下・階段、バルコニー等の軒天(上げ裏)部分	塗替	18年	高圧洗浄の上下地処理、仕上塗材塗り等
	タイル張補修	外壁・手すり壁等	補修	18年	欠損、浮き、剥離、ひび割れの補修、洗浄
	シーリング	外壁目地、建具周り、スリーブ周り、部材接合部等	打替	18年	既存シーリング材を全面撤去の上、下地処理、打替え
鉄部塗装等	鉄部塗装 (雨掛かり部分)	(鋼製)開放廊下・階段、バルコニーの手すり	塗替	6年	下地処理の上、塗装
	鉄部塗装 (非雨掛かり部分)	(鋼製)共用部分ドア、メーターボックス扉、手すり、照明器具、設備機器、配電盤類、屋内消火栓箱等	塗替	6年	下地処理の上、塗装
建具・金具等	建具関係	共用部分ドア、自動ドア	点検・調整	12年	動作点検、金物(丁番、ドアチェック等)の取替等
			取替	36年	撤去又はかぶせ工法
	窓サッシ、面格子、網戸、シャッター	点検・調整	12年	動作点検、金物(戸車、クレセント、ビート等)の取替等	
		取替	36年	撤去又はかぶせ工法	
手すり	開放廊下・階段、バルコニーの手すり、防風スクリーン	取替	36年	全部撤去の上、アルミ製手すりに取替	
給水設備	給水管	給水立て管、給水枝管	取替	20年	硬質塩化ビニル管亜鉛メッキ鋼管
		水道メーター	取替	8年	支給品
	貯水槽	受水槽、高置水槽	取替	25年	FRP製
	給水ポンプ	揚水ポンプ、加圧給水ポンプ、直結増圧ポンプ	補修	8年	オーバーホール
取替			15年		

	推定修繕項目	対象部位等	工事区分	修繕周期	想定する修繕工事の仕様
排水設備	雑排水管(屋内)	雑排水立て管 雑排水枝管	取替	20年	配管用炭素鋼鋼管
	汚水管(屋内)	汚水立て管 汚水枝管	取替	30年	配管用炭素鋼鋼管 タールエポキシ塗装鋼管 排水用硬質塩化ビニルライニング鋼管 排水用硬質塩化ビニル管 耐火2層管
	排水管(屋外)	屋外排水管	取替	25年	排水用硬質塩化ビニル管
	雨水樋	立て樋	取替	30年	硬質塩化ビニル管
	排水ポンプ	排水ポンプ	補修	8年	オーバーホール
取替			15年		
ガス設備	ガス管(屋内)	ガス管	取替	30年	配管用炭素鋼鋼管
		ガスメーター	取替	10年	
	ガス管(屋外)		取替	20年	配管用炭素鋼鋼管
設 換 備 気	換気設備	管理員室、集会室、機械室、電気室換気扇、ダクト類、換気口、換気ガラリ	取替	15年	
電 灯 設 備	電灯設備	共用廊下・エントランスホール等の照明器具、配線器具、非常照明、避難口・通路誘導灯、外灯等	取替	15年	
		非常用照明器具内蔵蓄電池	取替	4～6年	
	配電盤類	配電盤・プルボックス等	取替	30年	
	幹線設備	引込開閉器、幹線(電灯、動力)等	取替	30年	
	避雷針設備	避雷突針・ポール・支持金物・導線・接地極等	取替	40年	
通 信 情 報 設 備	情報・通信設備	電話配電盤(MDF)、中間端子盤(IDF)等	取替	30年	
	テレビ共聴設備	アンテナ、増幅器、分配機等 ※同軸ケーブルを除く	取替	15年	
	インターホン設備	インターホン設備、オートロック設備、住宅情報盤、防犯設備、配線等	取替	15年	
消 防 設 備	屋内消火栓設備	消火栓ポンプ、消火管、ホース類、屋内消火栓箱等	取替	25年	
	自動火災報知設備	感知器、発信器、表示灯、音響装置、中継器、受信機等	取替	20年	
	連結送水管設備	送水口、放水口、消火管、消火隊専用栓箱等	取替	25年	
昇 降 機 設 備	昇降機	カゴ内装、扉、三方枠等	補修	15年	
		全構成機器	取替	30年	
外 構 施 設	外構	平面駐車場、車路・歩道等の舗装、側溝、排水溝	補修	20年	
		囲障(塀、フェンス等)、サイン(案内板)、遊具、ベンチ等	取替	20年	
		埋設排水管、排水樹等、※埋設給水管を除く	取替	20年	

出典：公営住宅等長寿命化計画策定指針(改定)(平成28年(2016年)8月 国土交通省)

### ③時代の要請に応じた学校施設としての必要な機能の確保

時代の要請に応じた学校施設の目指すべき姿を実現するため、無線LANなどの学習環境を充実させるために必要な機能の整備のほか、照明器具のLED化など学校施設の維持管理費やエネルギーの低減などについて十分な検討を行った上で、学校施設の機能性向上を図るための改修等を実施します。

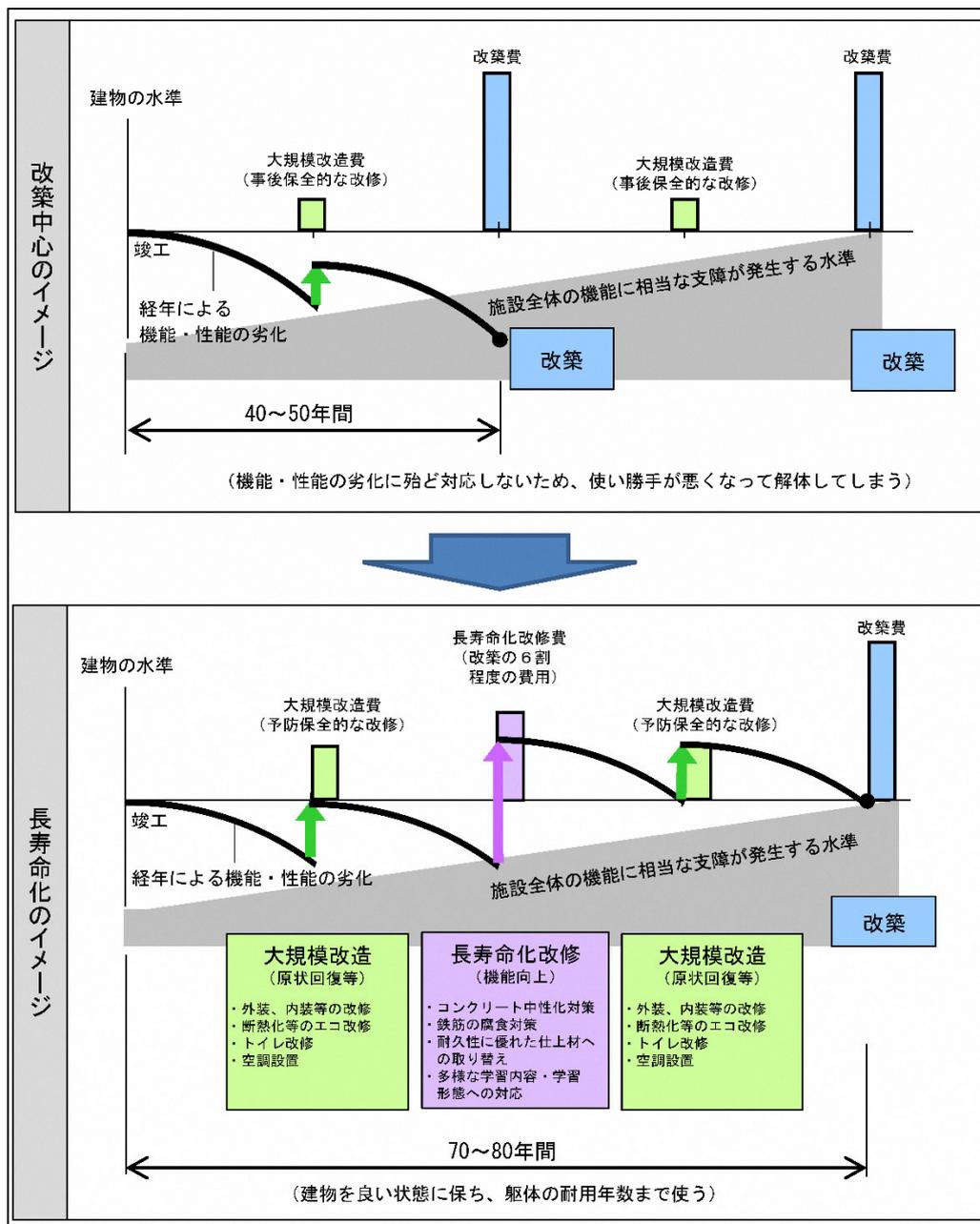
## (2) 目標使用年数、改修周期の設定

学校施設の劣化状況、今後の施設整備に係る費用の見込みなどを踏まえ、今後の学校施設の目標使用年数、改修周期について、おおむねの目安として以下のように設定します。

蓮田市においては、大規模改造に代わる機能回復・予防保全の工事として、外壁・屋根の部位改修を位置付けます。

表 4-2 目標使用年数、改修周期

	目標使用年数	長寿命化改修の 周期	部位改修(外壁・屋根) の周期
校舎・体育館	80年	築40年	築20年



出典：学校施設の長寿命化計画策定に係る解説書（文部科学省 平成29年（2017年）3月）

図 4-1 改築中心から長寿命化型の維持管理に移行した場合の費用のイメージ

## 4 - 4 学校施設整備の水準

児童生徒の学習環境や学校施設のメンテナンス性のほか、教職員等の執務環境の快適性等を考慮し、今後の蓮田市における学校施設の整備については、以下の(1)から(3)までの整備水準を基本的な考え方として進めます。

表 4-3 整備水準に関する優先順位の考え方

整備水準	整備水準の説明
A	全ての学校施設に標準的に備えるべきもの
B	全ての学校施設に標準的に備えることが望ましいもの
C	個別の学校施設に応じて備えることが望ましいもの

### (1) 建物外部（屋上、屋根、外壁など）

整備項目	整備水準
屋上防水、屋根改修における耐久性が高い工法の選定	A
防火性、耐久性、耐水性、安全性等に配慮した外壁材の採用	A
断熱性、遮音性、日射遮蔽性を確保することができる工法の選定	A
周辺環境及び景観に配慮した建材、色彩の選定	C

### (2) 建物内部（内壁、床、収納など）

整備項目	整備水準
防火性が高い内装材の採用	A
バリアフリー及びユニバーサルデザインに配慮した通路、階段、昇降口及び床の施工	A
揮発性有機化合物に配慮した家具及び建材の使用	A
ノンワックス <sup>※6</sup> 仕様等の維持管理のしやすい床材の選定	A
非構造部材の耐震性の確保	B
児童生徒の活発な活動に耐え得る安全性及び強度を有する内部仕上げによる施工	B
教材の規格に対応した収納の確保	B

※6 ノンワックス：床の表面に特殊素材を施すなどにより、床を汚してしまっても汚れが付きにくいように加工する技術のこと。

### (3) 設備（トイレ、照明、設備機器など）

整備項目	整備水準
トイレの洋式化及び床の乾式化 <sup>※7</sup>	A
照明設備のLED化	A
オンライン授業など、新たな学習形態に対応できるICT機器の設置	A
室内環境を良好に保つための空調設備の設置・強化	A
省エネルギー性能の高い機器の選定	A
耐用年数が長く、メンテナンスのしやすい機械設備及び電気設備の採用	A
避難所としての防災機能の整備	B
太陽光パネルや屋上緑化など、環境に配慮した設備等の設置	C
防犯性を考慮した、玄関のオートロック、夜間照明等の設置	C
プライバシーに配慮した相談室など諸室の適正な配置	C

※7 乾式化：屋内の他の部屋と同様の建材を用いて床や壁が構築されており、水で洗い流す清掃法が念頭に置かれていない床のつくりを指す。

### (4) その他

(1)～(3)のほか、校舎外においては、児童生徒等が通行する部分の危険箇所の除去や、児童生徒等と車両との動線の分離などの安全性の確保が重要です。また、グラウンドの雨水対策や樹木の剪定のほか、遊具の適正配置や維持管理、散水栓などの外部設備においても、日常の管理を行いつつ、適正な整備や修繕を検討します。

また、学校開放事業や放課後児童クラブなど各学校における複合的な利用実態を踏まえ、学校専用ゾーンと共有ゾーンにおけるセキュリティ機能を確保するため、学校開放専用の出入口の設置や、区画するための扉や間仕切りなどの設置を検討します。

## 4 - 5 今後の維持管理の項目・手法等

本計画に基づく維持管理を着実に進めていくため、建築基準法第 12 条に基づく定期点検などのタイミングに合わせて、以下に示す「劣化状況調査票」の項目に基づいた点検を実施します。

また、点検・評価の結果は同調査票に記入し、データベースとして蓄積することにより、将来の老朽化予測や改修の検討などに活用します。

表 4-4 劣化状況調査票（例）

通し番号	XXXX-XX-X						
学校名	A学校	学校番号	1301	調査日	平成28年9月20日		
建物名	校舎		記入者	〇〇			
棟番号	1	建築年度	昭和44 年度( 1969 年度)				
構造種別	鉄筋コンクリート造	延床面積	2,562 m <sup>2</sup>	階数	地上 3 階 地下 0 階		
部位	仕様 (該当する項目にチェック)	工事履歴(部位の更新)		劣化状況 (複数回答可)	箇所数	特記事項	評価
		年度	工事内容				
1 屋根 屋上	<input type="checkbox"/> アスファルト保護防水	H7	防水改修	<input type="checkbox"/> 降雨時に雨漏りがある	2	EXP.J金物に脱落がある	C
	<input type="checkbox"/> アスファルト露出防水			<input checked="" type="checkbox"/> 天井等に雨漏り痕がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> シート防水、塗膜防水			<input type="checkbox"/> 防水層に膨れ・破れ等がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(長尺金属板、折板)			<input type="checkbox"/> 屋根葺材に錆・損傷がある			
	<input type="checkbox"/> 勾配屋根(スレート、瓦類)			<input checked="" type="checkbox"/> 笠木・立上り等に損傷がある			
	<input type="checkbox"/> その他の屋根 ( )			<input type="checkbox"/> 樋やルーフトレを目視点検できない			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
2 外壁	<input checked="" type="checkbox"/> 塗仕上げ	H3	外壁改修	<input checked="" type="checkbox"/> 鉄筋が見えているところがある	5	北側の劣化	D
	<input checked="" type="checkbox"/> タイル張り、石張り			<input checked="" type="checkbox"/> 外壁から漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 金属系パネル	H10	耐震補強	<input checked="" type="checkbox"/> 塗装の剥がれ	多数		
	<input type="checkbox"/> コンクリート系パネル(ALC等)			<input checked="" type="checkbox"/> タイルや石が剥がれている			
	<input type="checkbox"/> その他の外壁 ( )			<input type="checkbox"/> 大きな亀裂がある			
	<input checked="" type="checkbox"/> アルミ製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアの廻りで漏水がある			
	<input type="checkbox"/> 鋼製サッシ			<input type="checkbox"/> 窓・ドアに錆・腐食・変形がある			
	<input type="checkbox"/> 断熱サッシ、省エネガラス			<input type="checkbox"/> 外部手すり等の錆・腐朽			
				<input type="checkbox"/> 既存点検等で指摘がある			
部位	改修・点検項目	改修・点検年度	特記事項(改修内容及び点検等による指摘事項)		評価		
3 内部仕上 (床・壁・天井) (内部建具) (間仕切等) (照明器具) (エアコン)等	<input checked="" type="checkbox"/> 老朽改修	H5	大規模改造		B		
	<input type="checkbox"/> エコ改修						
	<input type="checkbox"/> トイレ改修						
	<input type="checkbox"/> 法令適合						
	<input type="checkbox"/> 校内LAN						
	<input type="checkbox"/> 空調設置						
	<input type="checkbox"/> 障害児等対策						
	<input type="checkbox"/> 防犯対策						
	<input type="checkbox"/> 構造体の耐震対策						
	<input type="checkbox"/> 非構造部材の耐震対策						
<input type="checkbox"/> その他、内部改修工事							
4 電気設備	<input checked="" type="checkbox"/> 分電盤改修	H22			A		
	<input type="checkbox"/> 配線等の敷設工事						
	<input checked="" type="checkbox"/> 昇降設備保守点検	H18	指摘無し				
	<input type="checkbox"/> その他、電気設備改修工事						
5 機械設備	<input type="checkbox"/> 給水配管改修				C		
	<input type="checkbox"/> 排水配管改修						
	<input checked="" type="checkbox"/> 消防設備の点検	H27	指摘への対応済み				
	<input type="checkbox"/> その他、機械設備改修工事						

## 4 - 6 長寿命化の実施計画

### (1) 実施計画の基本的考え方

上位計画である「蓮田市公共施設個別施設計画」に基づき、長寿命化を図るべき施設を選定し、改修等の優先順位付けを行った上で、実施可能な予算規模を考慮しながら事業費の平準化を図り、計画期間内に行うべき改築、改修等の事業を計画します。

これまでは屋根、外壁の部位改修を中心に実施してきましたが、今後は、長寿命化改修を導入し、施設の長寿命化を図るとともに、改築、部位改修を計画的に実施し、長期に渡り学校施設の健全性を維持していきます。

### (2) 優先順位の考え方

実施計画を別途検討するに当たり、「蓮田市公共施設個別施設計画」に基づき、以下の考え方により優先順位の評価を行い、計画期間内における各学校施設の対応方針を検討します。

- 1) 建物の劣化度から健全度を算定し、児童生徒の学校生活における安全性を損なう状況にあり、緊急性の高いものを最優先とし、健全度の低いものから優先的に事業を実施します。同程度の評価となった場合は、築年数の古いものを優先します。
- 2) 長寿命化を図るべき建物として選定したものについては、計画期間内に築 40 年を経過し、今後、30 年以上使用するものについては「長寿命化改良事業」を実施します。
- 3) 社会動向の変化により、学習環境として必要な機能を確保できていないものについて、機能向上のための改修等を検討します。

### (3) 長寿命化を図る際の課題

蓮田市において、今後、学校施設の長寿命化を図る取組を進める際に、以下のような課題があげられます。今後は、これらの課題を考慮し、効果的・効率的な維持管理を進めていくことができるように努めます。

- 1) 日常的な点検や建築基準法第 12 条や消防法第 8 条に基づく定期点検等による建物や設備の劣化状況等の確認及び再評価
- 2) より効果的な工事内容や改築等の事業手法の見直し
- 3) 建物の長寿命化や予防保全型の維持管理を実施していくために必要な財源の確保
- 4) 社会動向のほか、蓮田市における政策や財政状況等の変化に対応した計画の適切な見直し

#### (4) 長寿命化による効果

学校施設の長寿命化を図ることにより、以下のような効果が期待できます。

- 1) 学校施設を長く有効に使うことにより、資産を有効に活用し、市の教育施策、地域づくり等の円滑な推進を図ることができます。
- 2) 長寿命化改良事業の実施により、改築に比べてイニシャルコストの削減や、耐久性の高い外装材等へ更新されることによる修繕周期の延長、維持管理費の削減等によるライフサイクルコストの縮減効果が期待できます。
- 3) 予防保全の考え方により、計画的に修繕を実施し、学校施設を耐用年数まで健全な状態に保つことにより、突発的・緊急的な修繕の減少が期待されるとともに、予算措置も計画的に行うことができます。
- 4) 上記により、中長期的な財政負担の軽減が期待できます。

## 4-7 今後の維持・更新コスト

### (1) 今後の維持・更新コスト（従来型）

学校施設の長寿命化を行わずに従来どおりの改築の周期を約 50 年として維持管理を続けた場合、今後 40 年間にかかる年間の平均費用は 11.4 億円程度になると想定され、その額は過去 5 年間に発生した施設関連経費の約 3.1 倍になります。

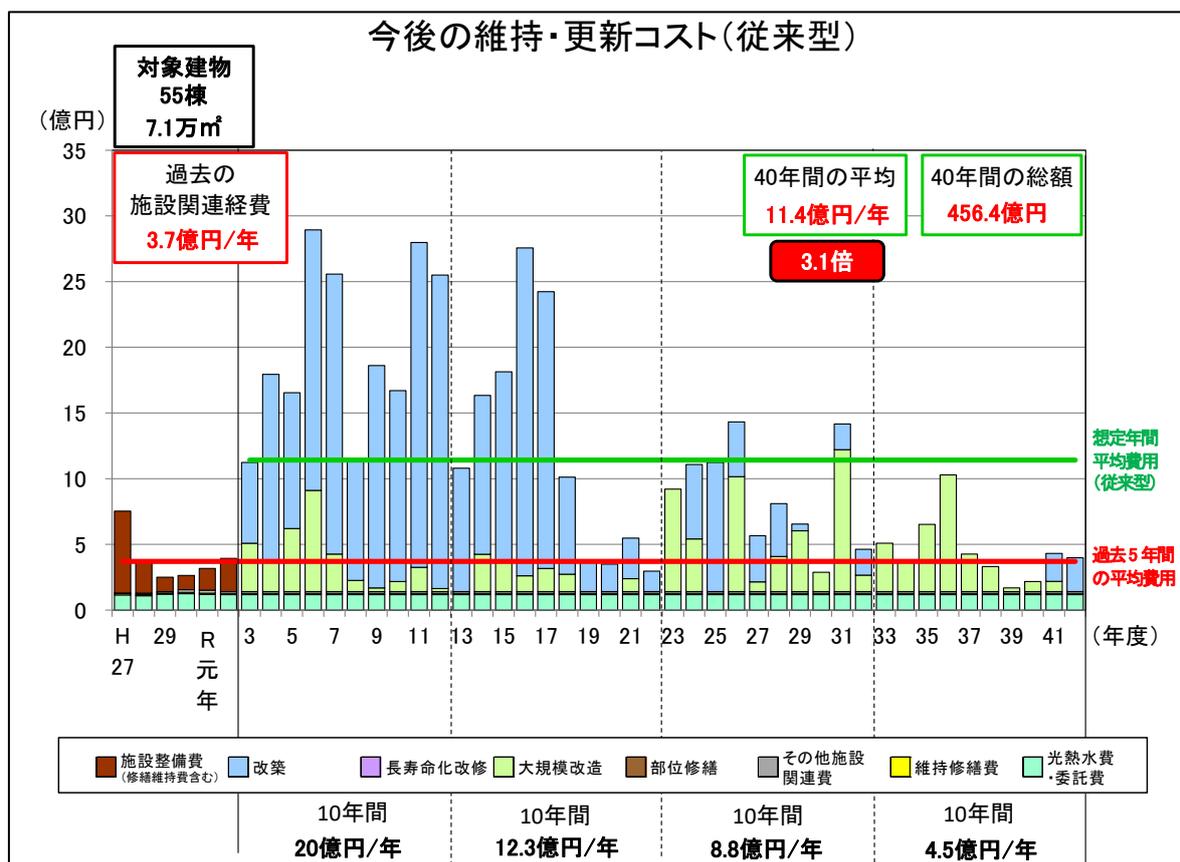


図 4-2 今後の維持・更新コスト（従来どおりの維持管理を行った場合）

#### 【コスト試算条件】

上記のコスト試算は、解説書に附属のエクセルソフトを用いて、以下の条件により試算しています。

- ・ 試算の基準年度は、令和 2 年度（2020 年度）としました。
- ・ 施設整備費、その他施設関連費、維持修繕費、光熱水費・委託費について、令和元年度（2019 年度）までは各年の実績値とし、令和 2 年度（2020 年度）以降の費用は、平成 27 年度（2015 年度）から令和元年度（2019 年度）までの平均費用を採用しました。
- ・ 改築<sup>※8</sup>の周期は 50 年とし、改築単価<sup>※9</sup>は校舎の工事实績により、434 千円/㎡としました。また、工事期間は 2 年で、改築費用は均等配分とし、実施年数より古い学校施設の改修を 10 年以内に実施することとしました。
- ・ 大規模改造の周期は 20 年とし、大規模改造の単価は工事实績により、校舎 143 千円/㎡、体育館 182 千円/㎡、給食棟 288 千円/㎡としました。また、工事期間は 1 年としました。

※8 改築：古い建物を壊して、用途や規模・構造が大きく変わらない新しい建物を建てること。

※9 文部科学省の解説書附属のエクセルソフトの設定上、従来型では設定可能な改築単価は 1 つであるため、校舎の工事単価を採用しました。

## (2) 今後の維持・更新コスト（長寿命化型）

### ①パターン1（解説書に基づく試算）

今後、長寿命化改修を導入し、改築の周期を80年とした場合、今後10年間の更新需要が大きくなっていることにより、先延ばしした改築費用に加えて長寿命化改修が集中することから、今後40年間に発生する維持管理費用は、年間13.6億円となります。

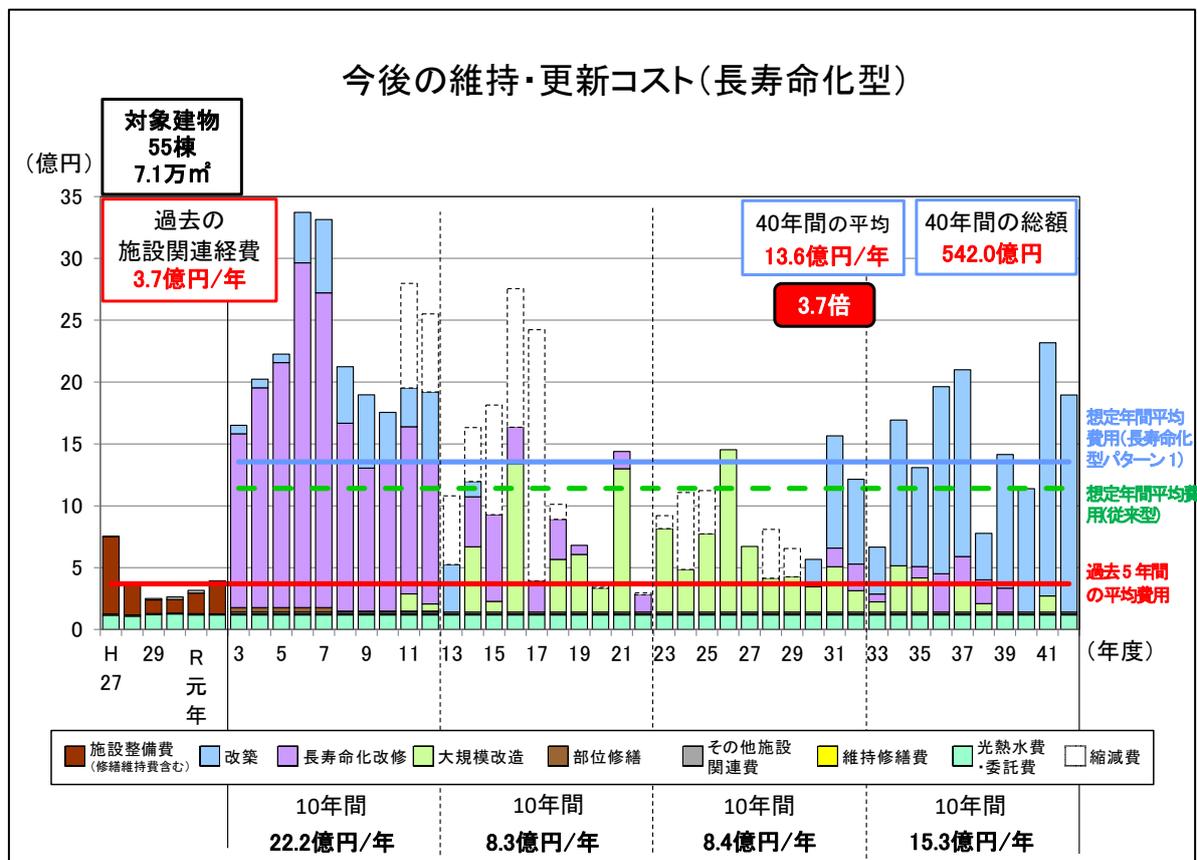


図4-3 今後の維持・更新コスト（長寿命化型パターン1）

### 【コスト試算条件】

上記のコスト試算は、解説書に附属のエクセルソフトを用いて、以下の条件により試算しています（下記に記載のない事項は従来型と同様）。

- 改築周期は、長寿命化判定が「改築、要調査」の施設は50年、「長寿命」は80年とし、単価は工事実績により、校舎 434 千円/㎡、体育館 552 千円/㎡、給食棟 873 千円/㎡としました。
- 長寿命化改修の周期は40年とし、単価は改築費用の約7割、工事期間は2年で、改築費用は均等配分とします。
- 既に築40年を超過している施設は、今後10年以内に長寿命化改修を実施することとします。
- 部位修繕について、劣化状況評価における以下の基準により実施するものとして試算します<sup>※10</sup>。
  - D 評価：今後5年以内に部位修繕を実施
  - C 評価：今後10年以内に部位修繕を実施
 （ただし、改築・長寿命化改修・大規模改造を今後10年以内に実施する場合を除く。）
  - A 評価：今後10年以内の長寿命化改修から部位修繕相当額を差し引く

※部位修繕の単価は、解説書に附属のエクセルソフトによる（改築単価に下記の比率を乗じる。）。

[校舎] 屋根・屋上 3.5%、外壁 5.1%、内部仕上げ 5.6%、電気設備 4.0%、機械設備 3.7%

[体育館] 屋根・屋上 3.0%、外壁 3.5%、内部仕上げ 5.6%、電気設備 4.8%、機械設備 1.7%

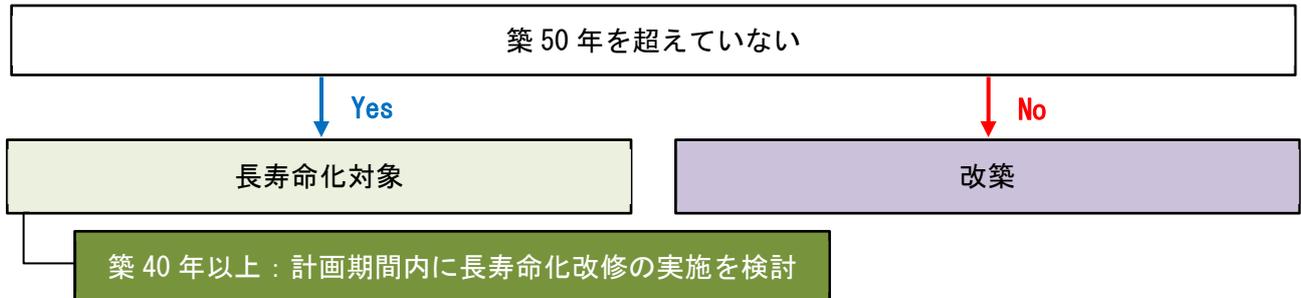
[給食棟] 屋根・屋上 3.5%、外壁 5.1%、内部仕上げ 5.6%、電気設備 4.0%、機械設備 3.7%

※10 部位修繕の試算については、あくまで仮定であり、今後の修繕計画は別途検討する。

## ②パターン2（蓮田市独自試算）

前述した①の考え方を基に、「蓮田市公共施設個別施設計画」に基づき、次から示す判定、事業の優先順位などにより、各学校施設の整備手法を選定した上で、今後の事業費について独自試算を行いました。

### 1) 1次判定【長寿命化を図るべき建物の対象選定】



### 2) 2次判定【改修の必要性、優先度】



### 3) 整備手法の仮設定

- 1次判定「改築」:「改築」
  - 1次判定「長寿命化改修の実施を検討」
    - 2次判定「優先的に改修」:「優先的に長寿命化改修を検討」
    - 2次判定「改修検討」 :「長寿命化改修を検討」
  - 1次判定「長寿命化対象」
    - 2次判定「優先的に改修」:「優先的に長寿命化改修又は改修を検討」
    - 2次判定「改修検討」 :「長寿命化改修又は改修を検討」
  - 1次判定「長寿命化対象外」
    - 2次判定「優先的に改修」:「優先的に改修を検討」
    - 2次判定「改修検討」 :「長寿命化改修又は改修を検討」
- 上記以外:維持管理

#### 4) 事業の優先順位

「蓮田市公共施設個別施設計画」では、改修等の優先順位付けを建物の健全度と施設の重要度から判断することとしています。学校施設においては、施設の重要度は全て高いものと判断し、改修等の優先順位については、施設の健全度を基本とし、同程度の評価となったものについては、築年数を考慮して優先順位を検討します。

#### 5) 3次判定【実施可能な予算規模等を考慮した総合的な判定】

3) で設定した整備手法の仮設定に対し、4) の事業の優先順位と年間の事業規模、学校単位での事業実施などを考慮して年次計画を検討し、計画期間内の施設ごとの整備手法を以下の通りとしました。

表 4-5 計画期間内の施設ごとの整備手法

整備手法		対象建物
改築		黒浜小学校（給食棟）、蓮田中央小学校（校舎、体育館）、黒浜西小学校（給食棟）、黒浜中学校（体育館）
長寿命化改修		蓮田北小学校（体育館）、平野小学校（体育館）、黒浜西小学校（体育館）、黒浜南小学校（校舎）、黒浜北小学校（体育館）、黒浜中学校（校舎）、蓮田南中学校（校舎）
改修	屋根・外壁	蓮田北小学校（校舎、給食棟）、平野小学校（校舎）、黒浜南小学校（給食棟）、黒浜北小学校（校舎）、平野中学校（校舎、給食棟、体育館）、黒浜中学校（校舎）、蓮田南中学校（給食棟）、黒浜西中学校（校舎）
	外壁	黒浜西小学校（校舎）
維持管理		蓮田南小学校（校舎、給食棟、体育館）、平野小学校（校舎、給食棟）、黒浜小学校（校舎、体育館）、蓮田中央小学校（給食棟）、黒浜南小学校（体育館）、黒浜北小学校（給食棟）、蓮田中学校（校舎、給食棟、体育館）、平野中学校（校舎）、黒浜中学校（校舎、給食棟）、蓮田南中学校（体育館）、黒浜西中学校（給食棟、体育館）

## 6) 事業費の試算結果

5) の整備手法により整備を行った場合、今後 40 年間に発生する維持管理費用は年間 9.7 億円となり、「長寿命化型パターン 1」による維持・更新コストから年間 3.9 億円/年の縮減が可能となり、40 年間の総額では約 7 割となります。なお、本試算における各事業の実施周期や単価等に係る条件は「長寿命化型パターン 1」と同様としています。

この結果により、事業の平準化を図っていますが、今後の予算規模は現在の 2.3~2.8 倍となっており、予算の確保が必要です。また、事業の遅れが生じた場合、事業が集中する時期が発生することが見込まれるため、今後の計画見直しにあたっては、事業の進捗を十分に管理し、児童生徒の動向等を考慮しながら、各整備の必要性について検討することが必要です。

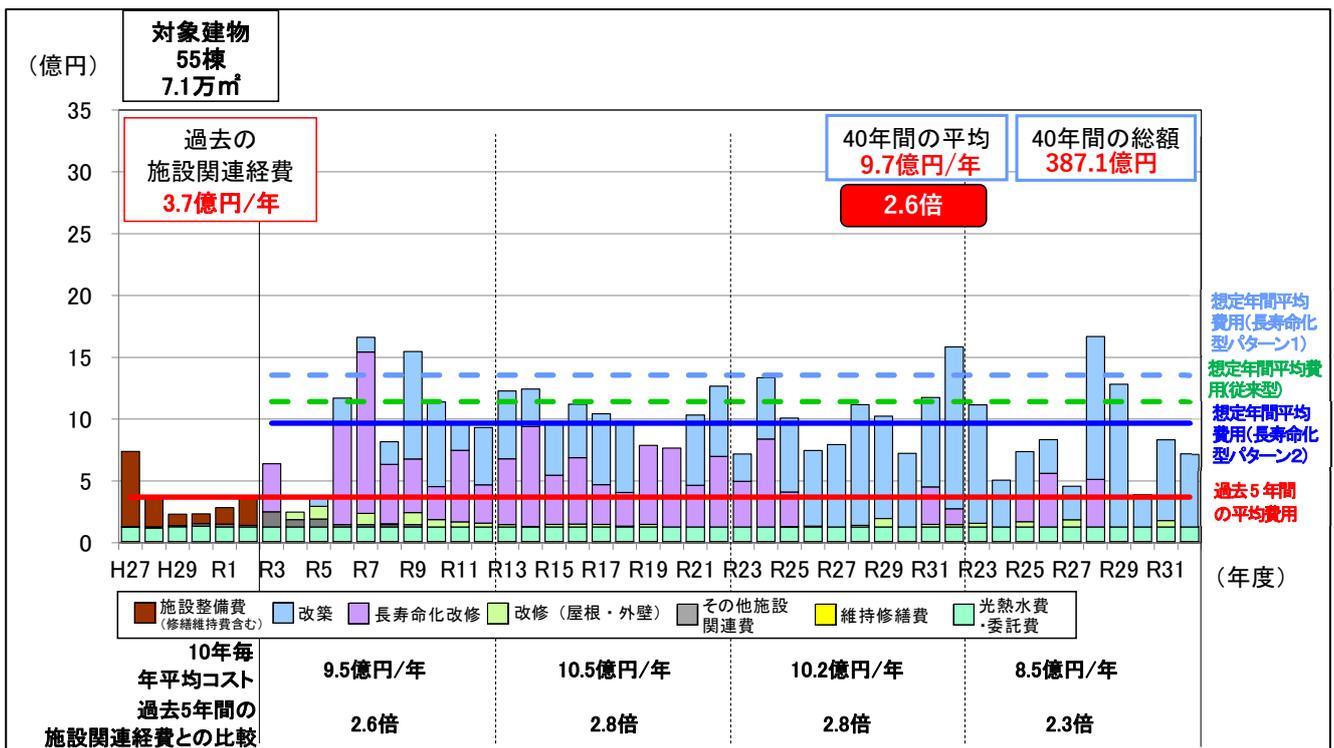


図 4-4 今後の維持・更新コスト (長寿命化型パターン 2)

### (3) 長寿命化の実施による維持管理費用の見通しについて

学校施設に係る整備、維持管理の費用を試算した結果、従来型の維持・更新から、長寿命化型(パターン 2) に転換することにより、今後 40 年間で約 69.3 億円、年平均約 1.7 億円のコスト削減効果が見込まれます。

表 4-6 想定される維持更新費用の比較

	今後 10 年間の平均額	今後 40 年間の平均額	今後 40 年間の総額
従来型	約 20.0 億円/年	約 11.4 億円/年	約 456.4 億円
長寿命化型(パターン 2)	約 9.5 億円/年	約 9.7 億円/年	約 387.1 億円
縮減効果の見込み	約 10.5 億円/年	約 1.7 億円/年	約 69.3 億円

#### (4) 実施計画

(2) で試算した長寿命化型（パターン2）の試算結果を基に、今後の各施設の整備方針を下記のように計画します。

表 4-7 長寿命化型（パターン2）の試算結果を基にした、今後の各施設の整備方針

通し 番号	施設名	分類	建物 用途	構造	延床面積 (㎡)	築年度 (西暦)	健全度	計画期間 令和3～12年度	令和13～22年度	令和23～32年度
1	蓮田南小学校	小学校	校舎	RC	2,243	1974	46	維持管理	改築	維持管理
2	蓮田南小学校	小学校	校舎	RC	2,606	1992	52	維持管理	長寿命化	維持管理
3	蓮田南小学校	小学校	給食棟	S	207	1974	69	維持管理	改築	維持管理
4	蓮田南小学校	小学校	体育館	RC	978	2016	93	維持管理	改修	維持管理
5	蓮田北小学校	小学校	校舎	RC	2,205	1972	36	改修	改築	維持管理
6	蓮田北小学校	小学校	校舎	RC	1,615	1995	77	改修	維持管理	長寿命化
7	蓮田北小学校	小学校	給食棟	S	236	1996	65	改修	維持管理	長寿命化
8	蓮田北小学校	小学校	体育館	S	727	1976	49	長寿命化	維持管理	維持管理
9	平野小学校	小学校	校舎	RC	1,479	1972	25	改修	維持管理	改築
10	平野小学校	小学校	校舎	RC	1,343	1978	25	改修	維持管理	改築
11	平野小学校	小学校	校舎	RC	903	1999	77	維持管理	改修	長寿命化
12	平野小学校	小学校	給食棟	S	205	2010	91	維持管理	改修	長寿命化
13	平野小学校	小学校	体育館	S	677	1975	36	長寿命化	維持管理	維持管理
14	黒浜小学校	小学校	校舎	RC	1,020	1968	72	維持管理	維持管理	改築
15	黒浜小学校	小学校	校舎	RC	1,269	1974	81	維持管理	維持管理	改築
16	黒浜小学校	小学校	校舎	RC	1,040	1993	77	維持管理	長寿命化	維持管理
17	黒浜小学校	小学校	校舎	RC	877	1993	77	維持管理	長寿命化	維持管理
18	黒浜小学校	小学校	給食棟	S	182	1970	39	改築	維持管理	維持管理
19	黒浜小学校	小学校	体育館	S	779	1986	59	維持管理	長寿命化	維持管理
20	蓮田中央小学校	小学校	校舎	RC	3,157	1969	78	改築	維持管理	維持管理
21	蓮田中央小学校	小学校	校舎	RC	1,001	1974	36	改築	維持管理	維持管理
22	蓮田中央小学校	小学校	給食棟	S	300	2013	100	維持管理	改修	維持管理
23	蓮田中央小学校	小学校	体育館	S	664	1970	31	改築	維持管理	維持管理
24	黒浜西小学校	小学校	校舎	RC	1,726	1976	33	改修	維持管理	改築
25	黒浜西小学校	小学校	校舎	RC	2,765	1979	33	改修	維持管理	改築
26	黒浜西小学校	小学校	給食棟	S	271	1977	36	改築	維持管理	維持管理
27	黒浜西小学校	小学校	体育館	S	737	1977	36	長寿命化	維持管理	維持管理
28	黒浜南小学校	小学校	校舎	RC	3,098	1981	53	優先的に長寿命化	維持管理	維持管理
29	黒浜南小学校	小学校	校舎	RC	1,398	1982	53	優先的に長寿命化	維持管理	維持管理
30	黒浜南小学校	小学校	給食棟	S	283	1981	100	改修	長寿命化	維持管理
31	黒浜南小学校	小学校	体育館	S	789	1982	62	維持管理	長寿命化	維持管理
32	黒浜北小学校	小学校	校舎	RC	4,117	1984	43	改修	長寿命化	維持管理
33	黒浜北小学校	小学校	給食棟	S	258	1984	75	維持管理	長寿命化	維持管理
34	黒浜北小学校	小学校	体育館	S	785	1985	53	長寿命化	維持管理	維持管理

通し 番号	施設名	分類	建物 用途	構造	延床面積 (㎡)	築年度 (西暦)	健全度	計画期間 令和3～12年度	令和13～22年度	令和23～32年度
35	蓮田中学校	中学校	校舎	RC	1,401	1974	49	維持管理	改築	維持管理
36	蓮田中学校	中学校	校舎	RC	1,999	1977	49	維持管理	改築	維持管理
37	蓮田中学校	中学校	校舎	RC	979	2009	100	維持管理	改修	長寿命化
38	蓮田中学校	中学校	校舎	S	400	1966	59	維持管理	改築	維持管理
39	蓮田中学校	中学校	給食棟	S	355	1989	51	維持管理	長寿命化	維持管理
40	蓮田中学校	中学校	体育館	RC	1,101	2014	93	維持管理	改修	維持管理
41	平野中学校	中学校	校舎	RC	1,045	1974	49	維持管理	維持管理	改築
42	平野中学校	中学校	校舎	RC	1,699	1984	65	改修	維持管理	改築
43	平野中学校	中学校	給食棟	S	251	1987	62	改修	維持管理	改築
44	平野中学校	中学校	体育館	S	881	1979	45	改修	維持管理	改築
45	黒浜中学校	中学校	校舎	RC	1,747	1971	25	維持管理	維持管理	維持管理
46	黒浜中学校	中学校	校舎	RC	1,254	1977	28	優先的に長寿命化	維持管理	維持管理
47	黒浜中学校	中学校	校舎	RC	1,840	1985	65	改修	長寿命化	維持管理
48	黒浜中学校	中学校	給食棟	S	357	1989	82	維持管理	維持管理	長寿命化
49	黒浜中学校	中学校	体育館	S	889	1974	39	改築	維持管理	維持管理
50	蓮田南中学校	中学校	校舎	RC	5,320	1979	25	優先的に長寿命化	維持管理	維持管理
51	蓮田南中学校	中学校	給食棟	S	339	1988	72	改修	維持管理	長寿命化
52	蓮田南中学校	中学校	体育館	S	946	1980	82	維持管理	改修	維持管理
53	黒浜西中学校	中学校	校舎	RC	4,411	1983	31	改修	維持管理	改築
54	黒浜西中学校	中学校	給食棟	S	368	1988	82	維持管理	長寿命化	維持管理
55	黒浜西中学校	中学校	体育館	S	1,008	1984	62	維持管理	長寿命化	維持管理

## 第5章 計画の推進・運用方針

### 5-1 計画の推進と運用に関する考え方

#### (1) 情報基盤の整備と活用

本計画において整理した学校施設に係るデータベースの定期的な更新を行い、学校施設の劣化状況や修繕、改修等の履歴のほか、点検の実施状況等を一元的に管理できる仕組みの構築について検討し、学校施設の適切な維持管理に必要な情報の把握に努めます。

#### (2) 推進体制等の整備

関連部局や学校管理者をはじめとする関係者と連携を図り、蓮田市公共施設等総合管理計画と整合した計画の推進に努めます。

また、計画に沿って事業や改修等工事を円滑に実施するためには、関係部局や学校管理者をはじめとする関係者の理解と協力が必要です。このため、日常点検による学校施設の状態や事業の工程等の情報共有など連携を図り、事業推進体制を整備します。

#### (3) フォローアップ

蓮田市公共施設等総合管理計画におけるフォローアップの実施方針に基づいて、PDCA<sup>※11</sup>のマネジメントサイクルの手法により実施します。

計画内容については、必要に応じて見直すとともに、社会情勢の変化に応じて適宜見直しを行うことにより、着実な計画の推進を図ります。

※11 PDCA：マネジメントサイクルの代表例はPDCAで、P（Plan：計画する）、D（Do：実行する）、C（Check：確認する）、A（Action：改善する）の頭文字をとった言葉で、日々のプロジェクトをPDCAの順番通りに進めることで、目標達成へと近づく手法





## 蓮田市立小中学校施設長寿命化計画

令和3年（2021年）3月

■発行：蓮田市

〒349-0193 埼玉県蓮田大字黒浜2799番地1

電話 048-768-3111（代表）

URL <https://www.city.hasuda.saitama.jp/>

■編集：蓮田市教育委員会学校教育課教育総務課